

# 吉岡町の財政状況

平成30年度決算

平成31年3月31日現在

人口：21,471人

男：10,532人

女：10,939人

世帯：8,063世帯

面積：20.46 km<sup>2</sup>

令和元年12月

# 【目 次】

1. 一般会計決算	1
(1) 歳入	1
ア 款別	1
イ 目的別	2
ウ 一般財源・特定財源	3
エ 自主財源・依存財源	4
(2) 歳出	5
ア 款別	5
イ 性質別	6
(3) 町税	7
ア 決算額	7
イ 町民1人あたり決算額	8
ウ 1世帯あたり決算額	8
2. 会計別決算	9
3. 財産の状況	11
(1) 年度末現在高	11
(2) 年度末現在高（町民1人あたり）	11
(3) 年度末現在高（1世帯あたり）	11
(4) 主な財産の増減内訳	12
(5) 基金残高	14
(6) 基金残高（町民1人あたり）	15
(7) 基金残高（1世帯あたり）	16
(8) 基金残高の推移	17
4. 町債の状況	20
(1) 一般会計現在高	20
(2) 会計別現在高	23
(3) 会計別現在高（町民1人あたり）	24
(4) 会計別現在高（1世帯あたり）	25
(5) 町債残高の推移	26
(6) 公債費の推移	28
5. 主要事業一覧表	31
6. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30年度主要事業一覧表（再掲）	65

# 1. 一般会計決算

## (1) 歳入 ア 款別

(単位：円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 町税	2,550,205,030	36.3	2,501,234,547	34.2	48,970,483	2.0
2. 地方譲与税	89,153,000	1.3	88,264,000	1.2	889,000	1.0
3. 利子割交付金	4,201,000	0.1	4,256,000	0.1	△55,000	△1.3
4. 配当割交付金	9,131,000	0.1	11,768,000	0.2	△2,637,000	△22.4
5. 株式等譲渡所得割交付金	7,630,000	0.1	12,076,000	0.2	△4,446,000	△36.8
6. 地方消費税交付金	369,430,000	5.3	350,363,000	4.8	19,067,000	5.4
7. ゴルフ場利用税交付金	1,451,804	0.0	1,481,476	0.0	△29,672	△2.0
8. 自動車取得税交付金	28,271,000	0.4	27,467,000	0.4	804,000	2.9
9. 地方特例交付金	31,961,000	0.5	26,568,000	0.4	5,393,000	20.3
10. 地方交付税	1,098,357,000	15.6	1,152,939,000	15.7	△54,582,000	△4.7
うち普通交付税	977,544,000	13.9	1,034,447,000	14.1	△56,903,000	△5.5
11. 交通安全対策特別交付金	3,390,000	0.0	3,652,000	0.0	△262,000	△7.2
12. 分担金及び負担金	157,938,680	2.2	155,639,480	2.1	2,299,200	1.5
13. 使用料及び手数料	34,653,248	0.5	34,909,666	0.5	△256,418	△0.7
14. 国庫支出金	1,070,325,330	15.2	1,076,700,855	14.7	△6,375,525	△0.6
15. 県支出金	602,786,902	8.6	574,329,502	7.8	28,457,400	5.0
16. 財産収入	3,728,921	0.1	5,231,995	0.1	△1,503,074	△28.7
17. 寄附金	8,103,950	0.1	37,505,605	0.5	△29,401,655	△78.4
18. 繰入金	147,715,395	2.1	689,831,830	9.4	△542,116,435	△78.6
うち財政調整基金	100,000,000	1.4	240,000,000	3.3	△140,000,000	△58.3
19. 繰越金	95,099,690	1.4	71,293,898	1.0	23,805,792	33.4
20. 諸収入	133,225,392	1.9	124,231,979	1.7	8,993,413	7.2
21. 町債	577,800,000	8.2	367,000,000	5.0	210,800,000	57.4
うち臨時財政対策債	272,500,000	3.9	282,200,000	3.9	△9,700,000	△3.4
歳入合計	7,024,558,342	100.0	7,316,743,833	100.0	△292,185,491	△4.0

## イ 目的別

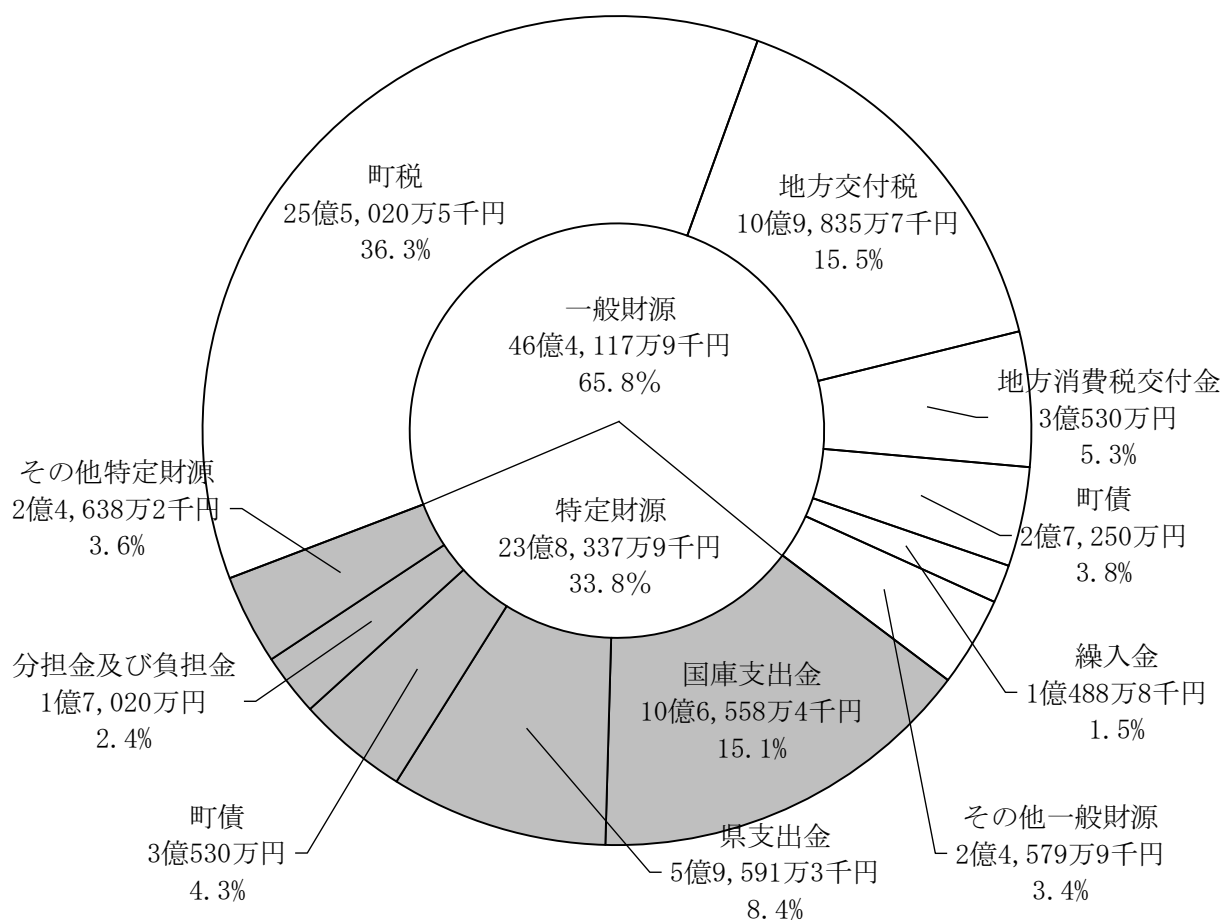
(単位：千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
町税	2,550,205	36.3	2,501,235	34.2	48,970	2.0
地方譲与税	89,153	1.3	88,264	1.2	889	1.0
利子割交付金	4,201	0.1	4,256	0.1	△55	△1.3
配当割交付金	9,131	0.1	11,768	0.2	△2,637	△22.4
株式等譲渡所得割交付金	7,630	0.1	12,076	0.2	△4,446	△36.8
地方消費税交付金	369,430	5.3	350,363	4.8	19,067	5.4
ゴルフ場利用税交付金	1,452	0.0	1,481	0.0	△29	△2.0
自動車取得税交付金	28,271	0.4	27,467	0.4	804	2.9
地方特例交付金	31,961	0.5	26,568	0.4	5,393	20.3
地方交付税	1,098,357	15.6	1,152,939	15.7	△54,582	△4.7
交通安全対策特別交付金	3,390	0.0	3,652	0.0	△262	△7.2
分担金及び負担金	170,200	2.4	167,679	2.3	2,521	1.5
使用料	23,978	0.3	23,365	0.3	613	2.6
手数料	10,675	0.2	11,545	0.2	△870	△7.5
国庫支出金	1,070,325	15.2	1,076,701	14.7	△6,376	△0.6
県支出金	602,786	8.6	574,330	7.8	28,456	5.0
財産収入	3,729	0.1	5,232	0.1	△1,503	△28.7
寄附金	8,104	0.1	37,506	0.5	△29,402	△78.4
繰入金	147,715	2.1	689,832	9.4	△542,117	△78.6
繰越金	95,099	1.4	71,294	1.0	23,805	33.4
諸収入	120,966	1.7	112,191	1.5	8,775	7.8
町債	577,800	8.2	367,000	5.0	210,800	57.4
歳 入 合 計	7,024,558	100.0	7,316,744	100.0	△292,186	△4.0

## ウ 一般財源・特定財源

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
一 般 財 源	4,641,179	66.1	5,168,124	70.6	△ 526,945	△ 10.2
特 定 財 源	2,383,379	33.9	2,148,620	29.4	234,759	10.9
歳 入 合 計	7,024,558	100.0	7,247,369	100.0	△ 222,811	△ 3.1



- 一般財源…町税、地方交付税などの使途が特定されていない財源

### 【その他一般財源の内訳】

地方譲与税 (8,915万3千円、1.3%)、地方特例交付金 (3,196万1千円、0.5%)、繰越金 (3,084万6千円、0.4%)、自動車取得税交付金 (2,827万1千円、0.4%)、諸収入 (1,637万7千円、0.2%) など

- 特定財源…国庫支出金、分担金及び負担金などの使途が特定されている財源

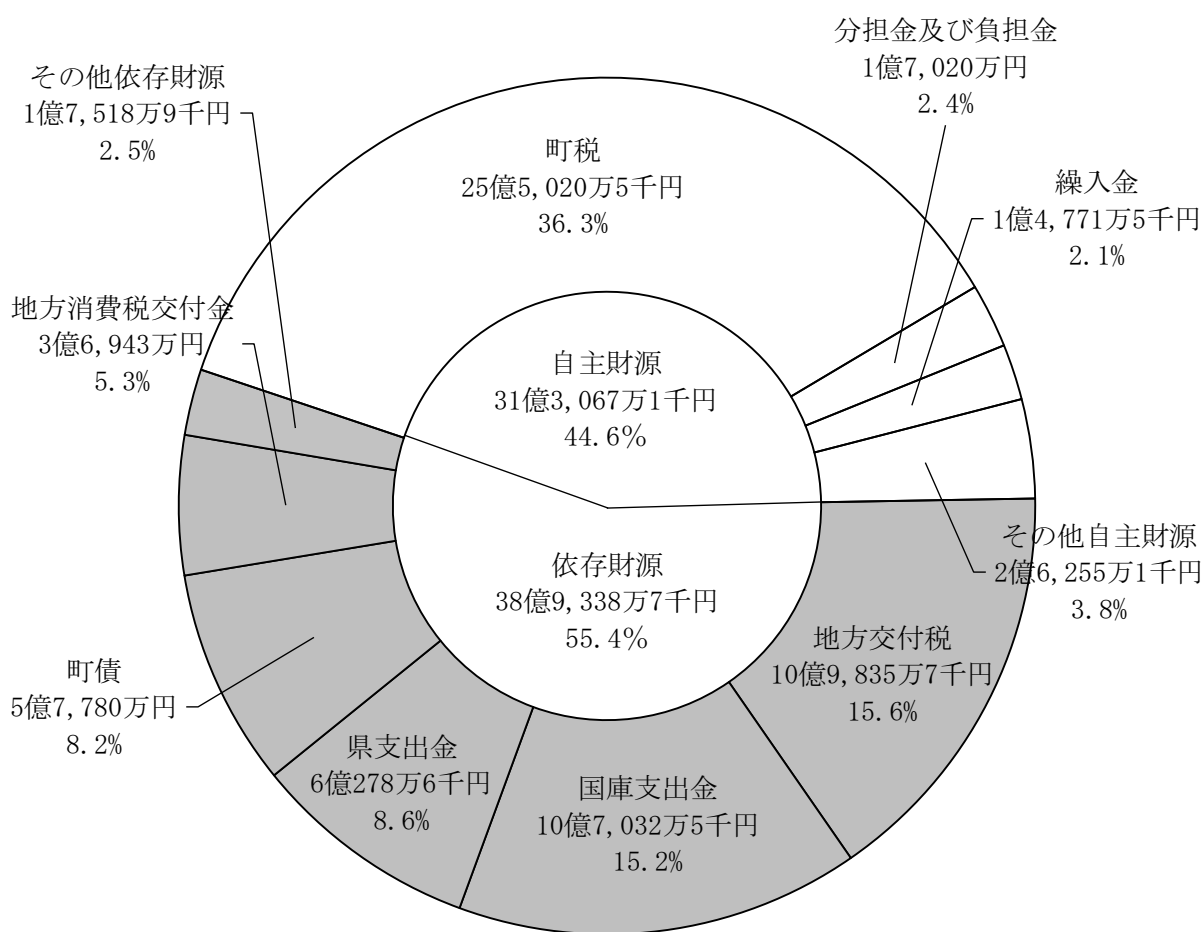
### 【その他特定財源の内訳】

諸収入 (1億458万9千円、1.5%)、繰越金 (6,425万3千円、0.9%)、繰入金 (4,282万7千円、0.6%)、使用料 (2,143万8千円、0.3%)、手数料 (1,067万5千円、0.2%) など

## エ 自主財源・依存財源

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
自主財源	3,130,671	44.6	3,619,879	49.5	△489,208	△13.5
依存財源	3,893,887	55.4	3,696,865	50.5	197,022	5.3
歳入合計	7,024,558	100.0	7,247,369	100.0	△222,811	△3.1



- 自主財源…町税、繰入金、分担金及び負担金など

### 【その他自主財源の内訳】

諸収入 (1億2,096万6千円、1.7%)、繰越金 (9,509万9千円、1.4%)、使用料 (2,397万8千円、0.3%)、手数料 (1,067万5千円、0.2%)、寄附金 (810万4千円、0.1%)、財産収入 (372万9千円、0.1%)

- 依存財源…地方交付税、国庫支出金、地方譲与税、町債、各種交付金など

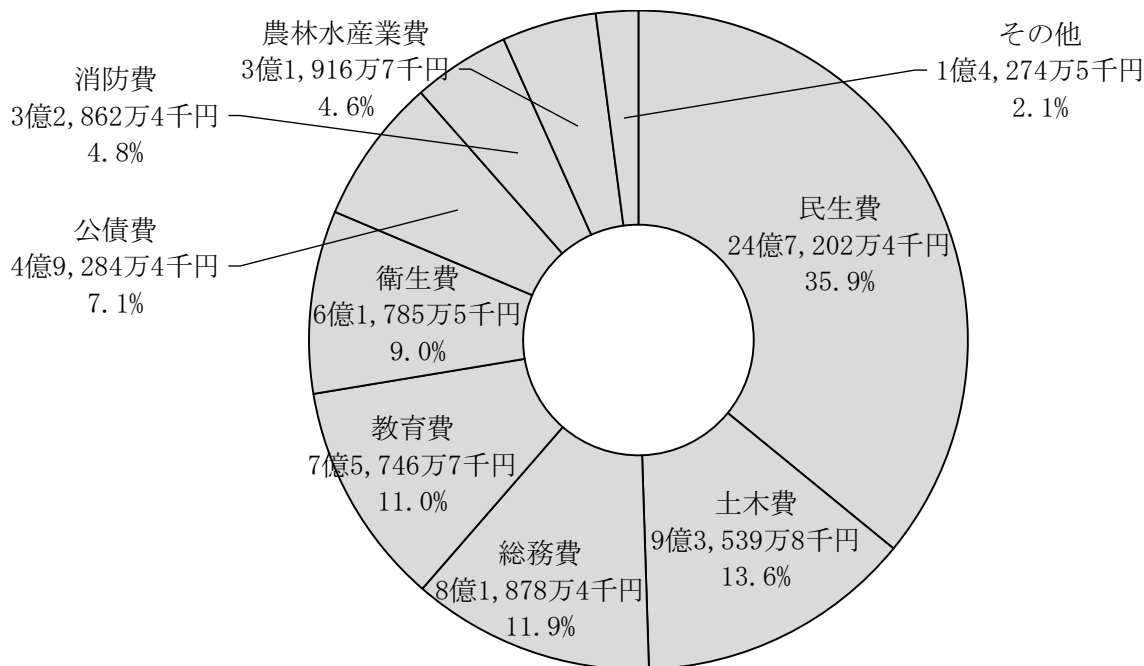
### 【その他依存財源の内訳】

地方譲与税 (8,915万3千円、1.3%)、地方特例交付金 (3,196万1千円、0.5%)、自動車取得税交付金 (2,827万1千円、0.4%) など

(2) 歳出  
ア 款別

(単位：円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
1. 議会費	95,091,287	1.4	98,492,569	1.4	△3,401,282	△3.5
2. 総務費	818,784,079	11.9	791,558,444	11.0	27,225,635	3.4
3. 民生費	2,472,024,140	35.9	2,506,674,789	34.7	△34,650,649	△1.4
4. 衛生費	617,854,729	9.0	616,246,941	8.5	1,607,788	0.3
5. 労働費	17,334,310	0.3	14,959,066	0.2	2,375,244	15.9
6. 農林水産業費	319,167,360	4.6	305,366,484	4.2	13,800,876	4.5
7. 商工費	30,301,677	0.4	53,915,545	0.7	△23,613,868	△43.8
8. 土木費	935,398,450	13.6	816,396,443	11.3	119,002,007	14.6
9. 消防費	328,622,639	4.8	379,231,238	5.3	△50,608,599	△13.3
10. 教育費	757,467,461	11.0	652,269,316	9.0	105,198,145	16.1
11. 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
12. 公債費	492,843,866	7.1	986,513,308	13.7	△493,669,442	△50.0
13. 諸支出金	18,000	0.0	20,000	0.0	△2,000	△10.0
14. 予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳出合計	6,884,907,998	100.0	7,176,074,991	100.0	△291,166,993	△4.1



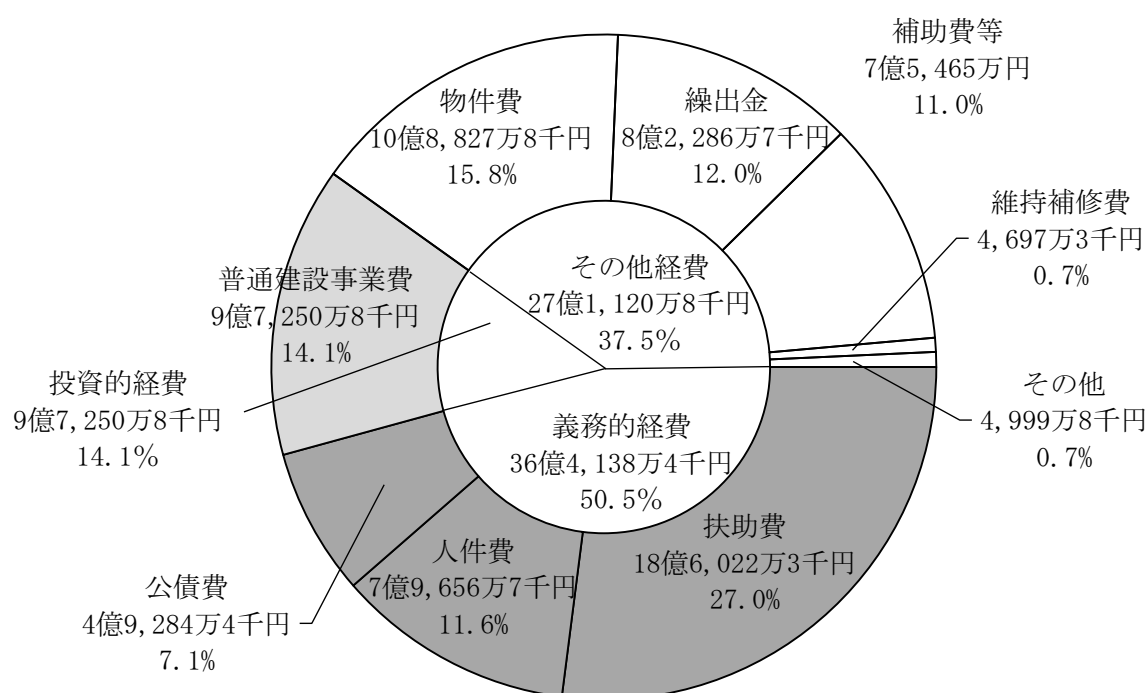
【その他の内訳】

議会費 (9,509万1千円、1.4%)、商工費 (3,030万2千円、0.4%)、労働費 (1,733万4千円、0.3%)、諸支出金 (1万8千円、0.0%)

## イ 性質別

(単位：千円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
義務的経費	3,149,634	45.8	3,641,384	50.5	△491,750	△13.5
人件費	796,567	11.6	806,472	11.2	△9,905	△1.2
扶助費	1,860,223	27.0	1,848,404	25.6	11,819	0.6
公債費	492,844	7.1	986,508	13.7	△493,664	△50.0
投資的経費	972,508	14.1	869,052	12.0	103,456	11.9
普通建設事業費	972,508	14.1	869,052	12.0	103,456	11.9
災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他経費	2,762,766	40.1	2,711,208	37.5	51,558	1.9
物件費	1,088,278	15.8	1,064,292	14.7	23,986	2.3
維持補修費	46,973	0.7	27,739	0.4	19,234	69.3
補助費等	754,650	11.0	737,498	10.2	17,152	2.3
積立金	14,998	0.2	12,007	0.2	2,991	24.9
投資及び出資金・貸付金	35,000	0.5	35,000	0.5	0	0.0
繰出金	822,867	12.0	834,672	11.5	△11,805	△1.4
予備費	0	0.0	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	6,884,908	100.0	7,221,644	100.0	△336,736	△4.7



### 【その他の内訳】

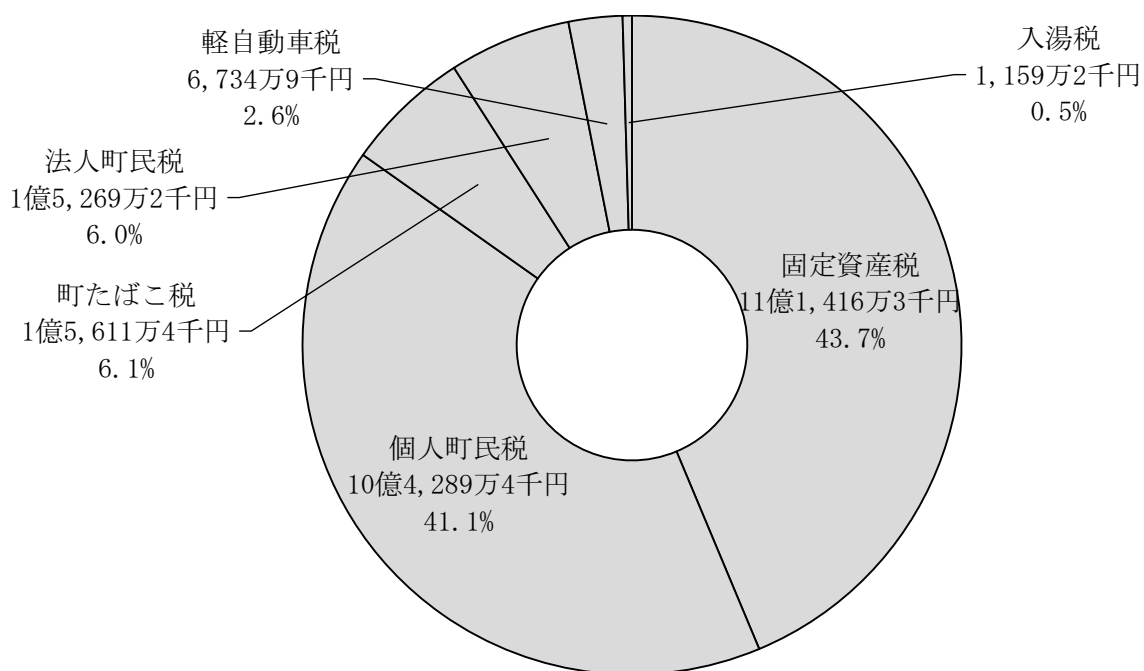
投資及び出資金・貸付金 (3,500万円、0.5%)、積立金 (1,499万8千円、0.2%)



(3) 町税  
ア 決算額

(単位：円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
個人町民税	1,048,293,780	41.1	995,489,784	39.8	52,803,996	5.3
法人町民税	152,692,328	6.0	159,934,104	6.4	△7,241,776	△4.5
固定資産税	1,114,163,011	43.7	1,110,124,533	44.4	4,038,478	0.4
軽自動車税	67,349,379	2.6	62,883,209	2.5	4,466,170	7.1
町たばこ税	156,114,292	6.1	161,282,407	6.4	△5,168,115	△3.2
入湯税	11,592,240	0.5	11,520,510	0.5	71,730	0.6
歳入合計	2,550,205,030	100.0	2,501,234,547	100.0	48,970,483	2.0



## イ 町民1人あたり決算額

平成30年度・平成29年度の決算額を、それぞれ平成31年3月31日現在・平成30年3月31日現在の人口で割ったものです。

(単位：円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
個人町民税	48,824	41.1	46,886	39.8	1,938	4.1
法人町民税	7,112	6.0	7,533	6.4	△421	△5.6
固定資産税	51,892	43.7	52,285	44.4	△393	△0.8
軽自動車税	3,137	2.6	2,962	2.5	175	5.9
町たばこ税	7,271	6.1	7,596	6.4	△325	△4.3
入湯税	540	0.5	543	0.5	△3	△0.6
計	118,774	100.0	117,805	100.0	969	0.8

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

## ウ 1世帯あたり決算額

平成30年度・平成29年度の決算額を、それぞれ平成31年3月31日現在・平成30年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

(単位：円、%)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
個人町民税	130,013	41.1	125,979	39.8	4,034	3.2
法人町民税	18,937	6.0	20,240	6.4	△1,303	△6.4
固定資産税	138,182	43.7	140,487	44.4	△2,305	△1.6
軽自動車税	8,353	2.6	7,958	2.5	395	5.0
町たばこ税	19,362	6.1	20,410	6.4	△1,048	△5.1
入湯税	1,438	0.5	1,458	0.5	△20	△1.4
計	316,285	100.0	316,532	100.0	△247	△0.1

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

## 2. 会計別決算

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	平成29年度	比 較		
		決算額	決算額	増減額	増減率	
一 般 会 計	歳入	7,024,558,342	7,316,743,833	△292,185,491	△4.0	
	歳出	6,884,907,998	7,221,644,143	△336,736,145	△4.7	
	差引	139,650,344	95,099,690	44,550,654	46.8	
	翌年繰越額	108,884,000	69,988,000	38,896,000	55.6	
	実質収支	30,766,344	25,111,690	5,654,654	22.5	
特 別 会 計	学校給食事業	歳入	118,216,041	114,071,026	4,145,015	3.6
		歳出	117,035,907	113,743,635	3,292,272	2.9
		差引	1,180,134	327,391	852,743	260.5
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	1,180,134	327,391	852,743	260.5
	公共下水道事業	歳入	420,882,730	380,537,589	40,345,141	10.6
		歳出	420,582,730	380,237,589	40,345,141	10.6
		差引	300,000	300,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	300,000	300,000	0	0.0
	国民健康保険事業	歳入	1,868,178,326	2,131,895,556	△263,717,230	△12.4
		歳出	1,825,111,499	2,099,327,783	△274,216,284	△13.1
		差引	43,066,827	32,567,773	10,499,054	32.2
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	43,066,827	32,567,773	10,499,054	32.2
	農業集落排水事業	歳入	153,104,713	164,420,165	△11,315,452	△6.9
		歳出	153,004,713	164,320,165	△11,315,452	△6.9
		差引	100,000	100,000	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	100,000	100,000	0	0.0

(単位：円、%)

区 分		平成30年度	平成29年度	比 較		
		決算額	決算額	増減額	増減率	
一 般 会 計	歳入	7,024,558,342	7,316,743,833	△292,185,491	△4.0	
	歳出	6,884,907,998	7,221,644,143	△336,736,145	△4.7	
	差引	139,650,344	95,099,690	44,550,654	46.8	
	翌年繰越額	108,884,000	69,988,000	38,896,000	55.6	
	実質収支	30,766,344	25,111,690	5,654,654	22.5	
特 別 会 計	住宅新築資金等 貸付事業	歳入	4,381,631	3,541,498	840,133	23.7
		歳出	4,381,631	3,541,498	840,133	23.7
		差引	0	0	0	0.0
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	0	0	0	0.0
	介護保険事業	歳入	1,384,631,597	1,369,017,353	15,614,244	1.1
		歳出	1,340,456,855	1,331,978,553	8,478,302	0.6
		差引	44,174,742	37,038,800	7,135,942	19.3
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	44,174,742	37,038,800	7,135,942	19.3
	後期高齢者医療 事業	歳入	189,915,424	179,372,323	10,543,101	5.9
		歳出	186,061,124	176,053,223	10,007,901	5.7
		差引	3,854,300	3,319,100	535,200	16.1
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	3,854,300	3,319,100	535,200	16.1
	計	歳入	4,139,310,462	4,342,855,510	△203,545,048	△4.7
		歳出	4,046,634,459	4,269,202,446	△222,567,987	△5.2
		差引	92,676,003	73,653,064	19,022,939	25.8
		翌年繰越額	0	0	0	0.0
		実質収支	92,676,003	73,653,064	19,022,939	25.8
合 計	歳入	11,163,868,804	11,659,599,343	△495,730,539	△4.3	
	歳出	10,931,542,457	11,490,846,589	△559,304,132	△4.9	
	差引	232,326,347	168,752,754	63,573,593	37.7	
	翌年繰越額	108,884,000	69,988,000	38,896,000	55.6	
	実質収支	123,442,347	98,764,754	24,677,593	25.0	

### 3. 財産の状況

#### (1) 年度末現在高

区 分	平成30年度末 現 在 高	平成29年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	1,998,476	1,998,154	322	0.0
建物 (㎡)	50,065	50,326	△261	△0.5
基金 (円)	2,703,830,685	2,801,384,000	△97,553,315	△3.5
出資金 (円)	140,929,316	140,929,316	0	0.0
自動車 (台)	47	46	1	2.2
消防自動車 (台)	6	6	0	0.0

※ 道路及び橋梁は含みません。

#### (2) 年度末現在高 (町民1人あたり)

平成30年度末・平成29年度末の現在高を、それぞれ平成31年3月31日現在・平成30年3月31日現在の人口で割ったものです。

区 分	平成30年度末 現 在 高	平成29年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	93.08	94.11	△1.03	△1.1
建物 (㎡)	2.33	2.37	△0.04	△1.7
基金 (円)	125,929	131,942	△6,013	△4.6
出資金 (円)	6,564	6,638	△74	△1.1

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

#### (3) 年度末現在高 (1世帯あたり)

平成30年度末・平成29年度末の現在高を、それぞれ平成31年3月31日現在・平成30年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

区 分	平成30年度末 現 在 高	平成29年度末 現 在 高	比 較	
			増 減 高	増減率 (%)
土地 (㎡)	247.86	252.87	△5.01	△2.0
建物 (㎡)	6.21	6.37	△0.16	△2.5
基金 (円)	335,338	354,516	△19,178	△5.4
出資金 (円)	17,479	17,835	△356	△2.0

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(4) 主な財産の増減内訳

	増 減 高	備 考
<b>土地 (㎡)</b>	322.00	
ごみ集積所用地	9.23	開発に伴う寄附による増
駒寄小学校用地	312.77	用地買収による増
<b>建物 (㎡)</b>	△261.02	
吉岡中学校体育倉庫・駐車場	13.94	新築による増
町営住宅下野田団地	△221.96	解体による減
その他 (行政財産)	△53.00	
<b>基金 (円)</b>	△97,553,315	
<b>財政調整基金</b>	△86,126,315	前年度決算剰余金の積立て +12,556,535 運用益の積立て +1,317,150 財源不足による取崩し △100,000,000
<b>減債基金</b>	2,000	運用益の積立て +2,000
<b>湧水対策施設維持管理基金</b>	△26,158,000	運用益の積立て +67,000 湧水対策施設維持管理経費財源の取崩し △26,225,000
<b>教育文化振興基金</b>	△15,554,000	運用益の積立て +48,000 図書館図書購入費に対する寄附金の積立て +1,000,000 駒寄小学校体育館改築事業財源の取崩し △11,889,000 八幡山仮設ソフトボール場工事費財源の取崩し △3,713,000 図書館図書購入財源の取崩し △1,000,000

	増 減 高	備 考
地域福祉基金	48,000	運用益の積立て +48,000
土地開発基金	18,000	運用益の積立て +18,000
介護給付費準備基金	18,600,000	剰余金の積立て +18,600,000
国民健康保険基金	11,617,000	剰余金の積立て +11,617,000

※ 地方財政法第7条の規定による積立て：前年度決算剰余金の2分の1を積み立てるもの

※ 運用益の積立て：基金を運用する預金の利子等の運用益を積み立てるもの

## (5) 基金残高

(単位：円)

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現 在 高
		平成30年度中 積 立 等 額	平成30年度中 取 崩 額	
一般会計	2,660,601,000	15,056,685	142,827,000	2,532,830,685
財政調整基金	2,391,987,000	13,873,685	100,000,000	2,305,860,685
減債基金	32,417,000	2,000	0	32,419,000
その他特定目的基金	215,919,000	1,163,000	42,827,000	174,255,000
湯水対策施設維持管理基金	112,570,000	67,000	26,225,000	86,412,000
教育文化振興基金	51,825,000	1,048,000	16,602,000	36,271,000
地域福祉基金	51,524,000	48,000	0	51,572,000
定額運用基金	20,278,000	18,000	0	20,296,000
土地開発基金	18,778,000	18,000	0	18,796,000
収入印紙等購買基金	1,500,000	0	0	1,500,000
国民健康保険基金	106,117,000	11,617,000	0	117,734,000
国民健康保険基金	106,117,000	11,617,000	0	117,734,000
介護給付費準備基金	34,666,000	18,600,000	0	53,266,000
介護給付費準備基金	34,666,000	18,600,000	0	53,266,000
計	2,801,384,000	45,273,685	142,827,000	2,703,830,685

※ **財政調整基金**：年度間の財源の不均衡を調整するための基金で、長期的視野に立った計画的な財政運営を行うために、財源に余裕のある年度に積立てを行い、財源不足が生じる年度に活用するもの。

※ **減債基金**：地方債の償還を計画的に行うための資金を積み立てる目的で設けられる基金。

※ **その他特定目的基金**：財政調整基金、減債基金の目的以外の特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立てるために設置される基金。

※ **定額運用基金**：定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産。

※ **湯水対策施設維持管理基金**：上越新幹線榛名トンネルの掘削に伴う湯水対策として整備された施設の維持管理費用に充てるため、JRからの補償金を原資として設置された基金。

※ **教育文化振興基金**：教育及び文化の振興を図るための経費に充てるため設置された基金。

※ **地域福祉基金**：高齢者の保健福祉の向上を図るための経費に充てるため設置された基金。



(6) 基金残高（町民1人あたり）

平成29年度末現在高は、平成29年度末の現在高を平成30年3月31日現在の人口で割ったものです。

平成30年度中増減額、平成30年度末現在高は、平成230年度中の増減額、平成30年度末の現在高を、それぞれ平成31年3月31日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現 在 高
		平成30年度中 積 立 等 額	平成30年度中 取 崩 額	
一般会計	125,311	701	6,652	117,965
財政調整基金	112,660	646	4,657	107,394
減債基金	1,527	0	0	1,510
その他特定目的基金	10,170	54	1,995	8,116
濁水対策施設維持管理基金	5,302	3	1,221	4,025
教育文化振興基金	2,441	49	773	1,689
地域福祉基金	2,427	2	0	2,402
定額運用基金	955	1	0	945
土地開発基金	884	1	0	875
収入印紙等購買基金	71	0	0	70
国民健康保険基金	4,998	541	0	5,483
国民健康保険基金	4,998	541	0	5,483
介護給付費準備基金	1,633	866	0	2,481
介護給付費準備基金	1,633	866	0	2,481
計	131,942	2,109	6,652	125,929

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

(7) 基金残高（1世帯あたり）

平成29年度末現在高は、平成29年度末現在の基金残高を平成30年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

平成30年度中増減額・平成30年度末現在高は、平成30年度中の増減額・平成30年度末現在の基金残高を、それぞれ平成31年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現 在 高
		平成30年度中 積 立 等 額	平成30年度中 取 崩 額	
一般会計	336,700	1,867	17,714	314,130
財政調整基金	302,707	1,721	12,402	285,980
減債基金	4,102	0	0	4,021
その他特定目的基金	27,325	144	5,312	21,612
濁水対策施設維持管理基金	14,246	8	3,253	10,717
教育文化振興基金	6,558	130	2,059	4,498
地域福祉基金	6,520	6	0	6,396
定額運用基金	2,566	2	0	2,517
土地開発基金	2,376	2	0	2,331
収入印紙等購買基金	190	0	0	186
国民健康保険基金	13,429	1,441	0	14,602
国民健康保険基金	13,429	1,441	0	14,602
介護給付費準備基金	4,387	2,307	0	6,606
介護給付費準備基金	4,387	2,307	0	6,606
計	354,516	5,615	17,714	335,338

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

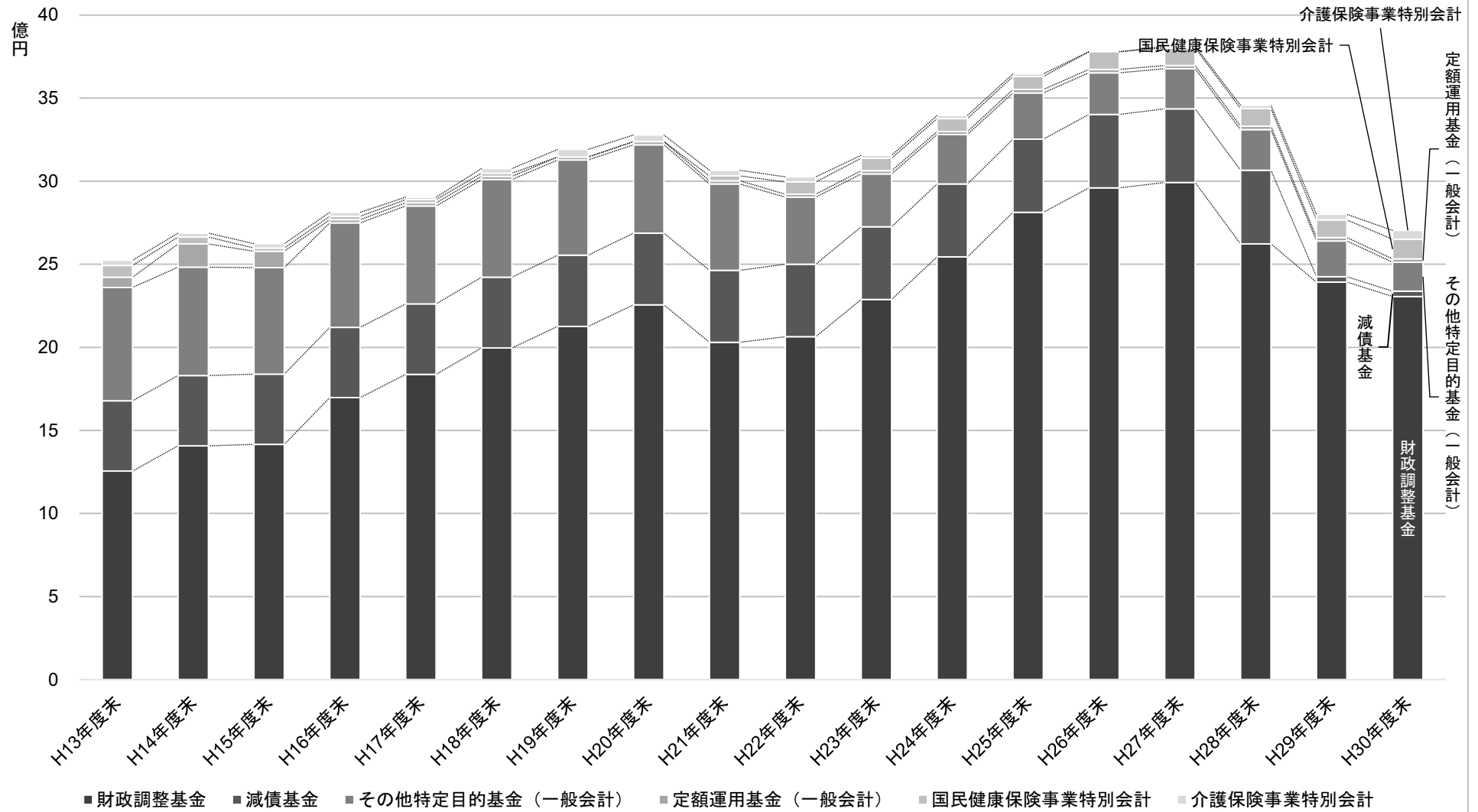
## (8) 基金残高の推移

(単位：千円)

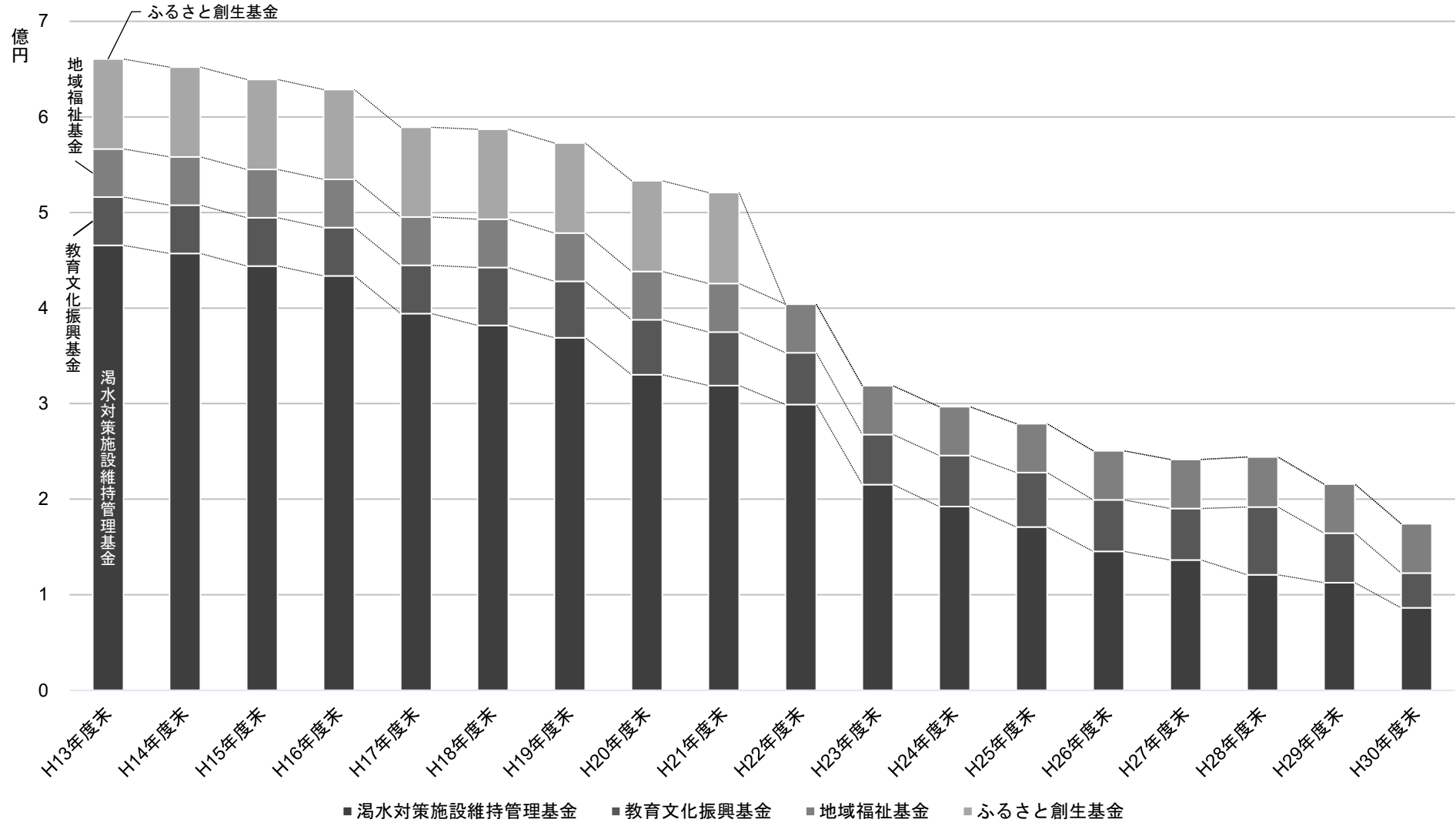
区 分	H21年度末	H22年度末	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末
一 般 会 計	3,002,166	2,922,089	3,062,785	3,299,386	3,552,420	3,672,533	3,697,001	3,330,843	2,660,601	2,532,831
財政調整基金	2,030,281	2,064,756	2,288,490	2,544,657	2,812,254	2,959,496	2,991,739	2,622,098	2,391,987	2,305,861
減債基金	432,592	434,900	437,122	439,358	440,984	442,248	443,467	444,260	32,417	32,419
その他特定目的基金	520,816	403,919	318,601	296,757	279,026	250,595	241,565	244,227	215,919	174,255
濁水対策施設維持管理基金	319,051	299,038	215,395	192,319	170,855	145,412	136,484	120,990	112,570	86,412
教育文化振興基金	55,864	54,090	52,253	53,369	56,986	53,892	53,691	70,769	51,825	36,271
地域福祉基金	50,690	50,791	50,953	51,069	51,185	51,291	51,390	52,468	51,524	51,572
ふるさと創生基金	95,211									
定額運用基金	18,477	18,514	18,572	18,614	20,156	20,194	20,230	20,258	20,278	20,296
土地開発基金	18,477	18,514	18,572	18,614	18,656	18,694	18,730	18,758	18,778	18,796
収入印紙等購買基金					1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
国民健康保険事業特別会計	30,007	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117	106,117	117,734
国民健康保険基金	30,007	72,969	74,971	78,000	78,000	106,117	106,117	106,117	106,117	117,734
介護保険事業特別会計	34,230	31,555	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866	34,666	53,266
介護給付費準備基金	31,224	31,323	17,912	19,342	15,625	0	9,573	18,866	34,666	0
介護従事者処遇改善臨時特例基金	3,006	231								
計	3,066,403	3,026,613	3,155,668	3,396,728	3,646,045	3,778,650	3,812,691	3,455,826	2,801,384	2,703,831

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

# 基金残高の推移



# 基金残高（その他特定目的基金）の推移



## 4. 町債の状況

### (1) 一般会計現在高

(単位：円)

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現 在 高
		平成30年度中 起 債 額	平成30年度中 償 還 額	
1 建設地方債	1,543,835,811	305,300,000	196,366,031	1,652,769,780
(1) 総務債	4,960,000	23,900,000	1,240,000	27,620,000
役場庁舎非常用発電機設置事業	0	23,900,000	0	23,900,000
地方公共団体情報セキュリティ強化対策事業[H28 (H27 繰越) ]	4,960,000	0	1,240,000	3,720,000
(2) 民生債	10,900,000	0	0	10,900,000
地域福祉交流拠点施設整備事業債[H29 (H28 繰越) ]	10,900,000	0	0	10,900,000
(3) 衛生債	157,046,452	0	14,761,646	142,284,806
一般会計出資債(上水道事業)[H5~H17]	142,178,948	0	11,829,556	130,349,392
保健センター建設事業[H14]	14,867,504	0	2,932,090	11,935,414
(4) 農林水産業債	7,650,000	0	2,550,000	5,100,000
林道改良事業[H22 (H21 繰越) ]	7,650,000	0	2,550,000	5,100,000
(5) 土木債	725,323,182	151,500,000	130,174,825	746,648,357
臨時地方道整備事業[H9~H18]	140,713,182	0	53,326,825	87,386,357
上野田公園整備事業[H14~H17]	9,382,000	0	4,266,000	5,116,000
まちづくり交付金事業[H17~H21]	436,428,000	0	72,582,000	363,846,000

(単位：円)

区	分	平成29年度末 現在高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現在高
			平成30年度中 起債額	平成30年度中 償還額	
	南下城山防災公園整備事業[H27~H29]	138,800,000	145,700,000	0	284,500,000
	町営住宅下野田団地解体事業	0	5,800,000	0	5,800,000
	(6) 消防債	35,750,000	4,000,000	3,210,000	36,540,000
	第1分団詰所建設事業[H24]	13,550,000	0	2,710,000	10,840,000
	消防団無線デジタル化事業[H27]	4,000,000	0	500,000	3,500,000
	防災無線デジタル化事業[H29]	18,200,000	0	0	18,200,000
	J-ALERT 新型受信機設置事業	0	4,000,000	0	4,000,000
	(7) 教育債	602,206,177	125,900,000	44,429,560	683,676,617
	駒寄小学校プール建設事業[H14]	15,603,218	0	3,077,184	12,526,034
	駒寄小学校校舎建設事業[H15]	204,644,206	0	16,895,837	187,748,369
	駒寄小学校校舎大規模改造事業[H16]	29,352,000	0	2,446,000	26,906,000
	明治小学校冷暖房改修事業[H17]	7,600,000	0	600,000	7,000,000
	吉岡中学校体育館改築事業[H22]	107,900,975	0	12,929,637	94,971,338
	明治小学校耐震改修事業[H23]	14,007,076	0	3,475,583	10,531,493
	吉岡中学校北校舎エレベーター設置事業[H25 (H24 繰越) ]	16,470,000	0	2,740,000	13,730,000
	吉岡中学校南校舎防音改造事業[H25]	13,728,702	0	2,265,319	11,463,383
	社会体育館改修事業[H27]	78,000,000	0	0	78,000,000
	駒寄小学校トイレ改修事業[H28 (H27 繰越) ]	30,400,000	0	0	30,400,000

(単位：円)

区	分	平成29年度末 現在高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現在高
			平成30年度中 起債額	平成30年度中 償還額	
	明治小学校校舎増築事業[H28]	84,500,000	0	0	84,500,000
	明小職員室改修事業	0	12,100,000	0	12,100,000
	町民プール解体事業	0	7,400,000	0	7,400,000
	駒小体育館用地取得事業	0	19,200,000	0	19,200,000
	駒小体育館改築事業	0	45,500,000	0	45,500,000
	吉中校舎増築事業	0	36,000,000	0	36,000,000
	吉中ブロック塀改修事業	0	5,700,000	0	5,700,000
2	財源対策のための地方債	2,806,205,109	272,500,000	258,971,854	2,819,733,255
	(1)減税補てん債[H10~H18]	61,832,442	0	15,656,494	46,175,948
	(2)臨時財政対策債[H13~H30]	2,744,372,667	272,500,000	243,315,360	2,773,557,307
	計	4,350,040,920	577,800,000	455,337,885	4,472,503,035



## (2) 会計別現在高

(単位：円)

区 分	平成29年度末 現在高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現在高
		平成30年度中 起債額	平成30年度中 償還額	
一般会計	4,350,040,920	577,800,000	455,337,885	4,472,503,035
建設地方債	1,543,835,811	305,300,000	196,366,031	1,652,769,780
財源対策のための地方債	2,806,205,109	272,500,000	258,971,854	2,819,733,255
特別会計	2,672,524,293	118,300,000	218,241,219	2,572,583,074
公共下水道事業	1,660,142,660	116,300,000	147,212,013	1,629,230,647
農業集落排水事業	1,011,771,720	2,000,000	70,419,293	943,352,427
住宅新築資金等貸付事業	609,913	0	609,913	0
水道事業会計	1,142,747,466	0	71,764,135	1,070,983,331
計	8,165,312,679	696,100,000	745,343,239	8,116,069,440

※ 建設地方債：地方財政法で通常認められている地方債で、学校等の建物のほか、道路・橋りょう・公園等の建設事業のための借入金です。

※ 財源対策のための地方債：特別法等で財源不足を補うために特別に認められている地方債で、「臨時財政対策債」、「減税補てん債」、「臨時税収補てん債」が含まれます。

※ 臨時財政対策債：地方交付税が国の予算不足により満額交付されないため、財源不足額を補てんするために平成13年度から地方自治体で借り入れているもの。後年度の元利償還金（借入金返済金）は、地方交付税で100%措置されます。

※ 減税補てん債：平成6年度～平成18年度の税制改正による地方税の減収額を補てんするために借り入れたもの。

※ 臨時税収補てん債：地方消費税の創設時に、導入初年度は通年分が収入できないため、その税収を補てんするために平成9年度に借り入れたもの。

### (3) 会計別現在高（町民1人あたり）

平成29年度末現在高は、平成29年度末現在の町債残高を平成30年3月31日現在の人口で割ったものです。

平成30年度中増減額・平成30年度末現在高は、平成30年度中増減額・平成30年度末現在の町債残高を、それぞれ平成31年3月31日現在の人口で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現 在 高
		平成30年度中 起 債 額	平成30年度中 償 還 額	
一般会計	204,881	26,911	21,207	208,304
建設地方債	72,713	14,219	9,146	76,977
財源対策のための地方債	132,169	12,692	12,061	131,328
特別会計	125,872	5,510	10,164	119,817
公共下水道事業	78,191	5,417	6,856	75,881
農業集落排水事業	47,653	93	3,280	43,936
住宅新築資金等貸付事業	29	0	28	0
水道事業会計	53,822	0	3,342	49,880
計	384,576	32,420	34,714	378,001

※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

#### (4) 会計別現在高（1世帯あたり）

平成29年度末現在高は、平成29年度末現在の町債残高を平成30年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

平成30年度中増減額・平成30年度末現在高は、平成30年度中増減額・平成30年度末現在の町債残高を、それぞれ平成31年3月31日現在の世帯数で割ったものです。

（単位：円）

区 分	平成29年度末 現 在 高	平成30年度中増減額		平成30年度末 現 在 高
		平成30年度中 起 債 額	平成30年度中 償 還 額	
一般会計	550,499	71,661	56,473	554,695
建設地方債	195,373	37,864	24,354	204,982
財源対策のための地方債	355,126	33,796	32,119	349,713
特別会計	338,209	14,672	27,067	319,060
公共下水道事業	210,091	14,424	18,258	202,063
農業集落排水事業	128,040	248	8,734	116,998
住宅新築資金等貸付事業	77	0	76	0
水道事業会計	144,615	0	8,900	132,827
計	1,033,322	86,333	92,440	1,006,582

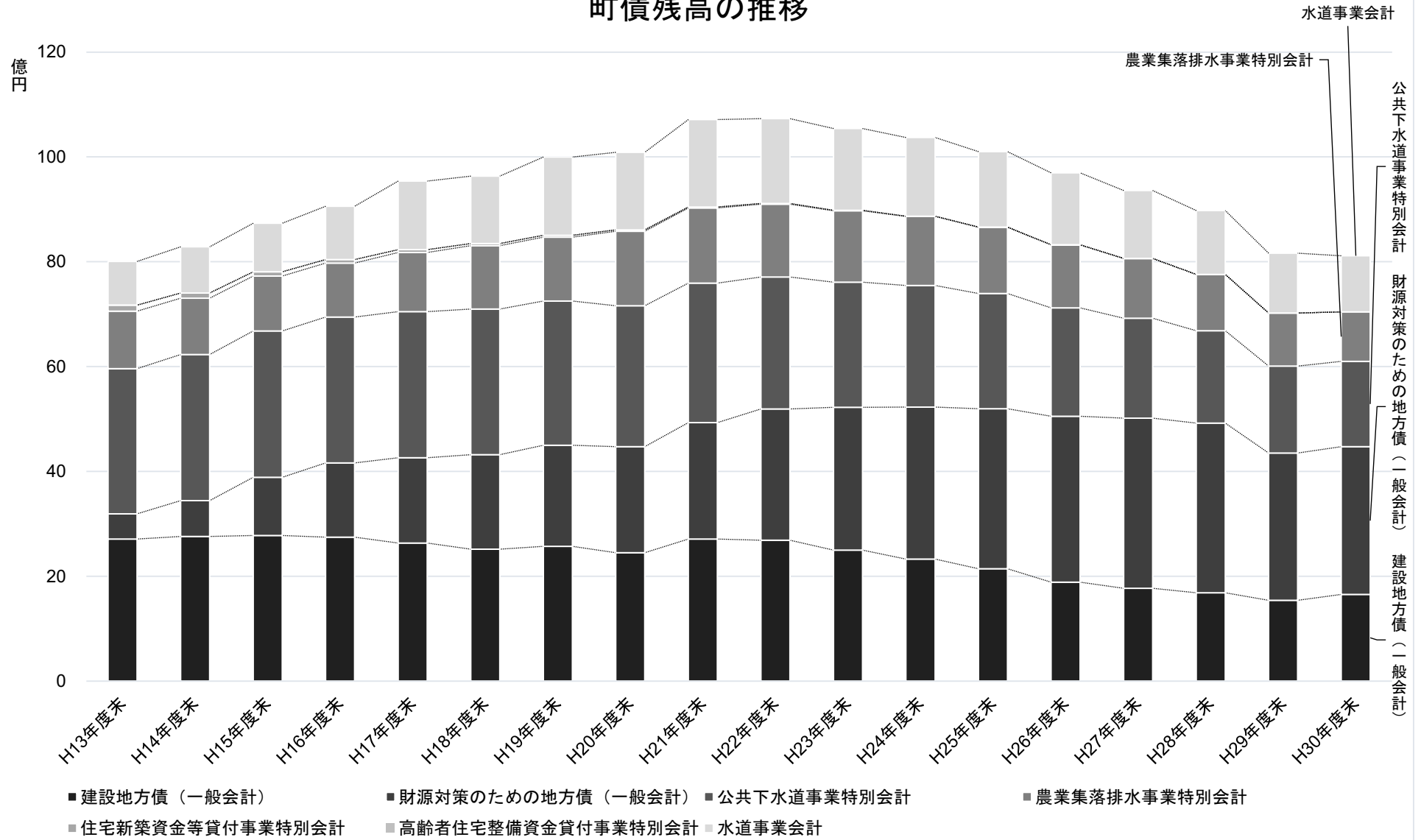
※ 項目ごとに端数処理をしているため、内訳と合計が一致しない場合があります。

## (5) 町債残高の推移

(単位：千円)

区 分	H21 年度末	H22 年度末	H23 年度末	H24 年度末	H25 年度末	H26 年度末	H27 年度末	H28 年度末	H29 年度末	H30 年度末
一 般 会 計	4,931,534	5,190,931	5,224,769	5,229,477	5,196,334	5,053,281	5,014,888	4,923,727	4,350,041	4,472,503
建設地方債	2,712,887	2,686,285	2,501,629	2,330,591	2,143,503	1,889,494	1,773,330	1,684,478	1,543,836	1,652,769
減税補てん債	261,060	231,170	200,912	170,239	139,179	107,669	92,628	77,331	61,833	46,177
臨時税收補てん債	31,792	28,089	24,312	20,459	16,529	12,518	8,428	4,256	0	0
臨時財政対策債	1,925,795	2,245,387	2,497,916	2,708,188	2,897,123	3,043,600	3,140,502	3,157,662	2,744,372	2,773,557
特 別 会 計	4,113,672	3,920,776	3,755,524	3,641,514	3,467,388	3,273,460	3,047,766	2,835,222	2,672,525	2,572,583
公共下水道事業	2,663,014	2,518,652	2,383,764	2,318,913	2,197,018	2,065,946	1,906,484	1,761,486	1,660,143	1,629,231
農業集落排水事業	1,432,837	1,389,808	1,363,468	1,315,656	1,264,843	1,203,484	1,138,830	1,072,542	1,011,772	943,352
住宅新築資金等貸付事業	17,821	12,316	8,292	6,945	5,527	4,030	2,452	1,194	610	0
水道事業会計	1,667,088	1,616,838	1,559,760	1,501,095	1,436,759	1,369,423	1,295,593	1,220,229	1,142,747	1,070,983
計	10,712,294	10,728,545	10,540,053	10,372,086	10,100,481	9,696,164	9,358,247	8,979,178	8,165,313	8,116,069

# 町債残高の推移

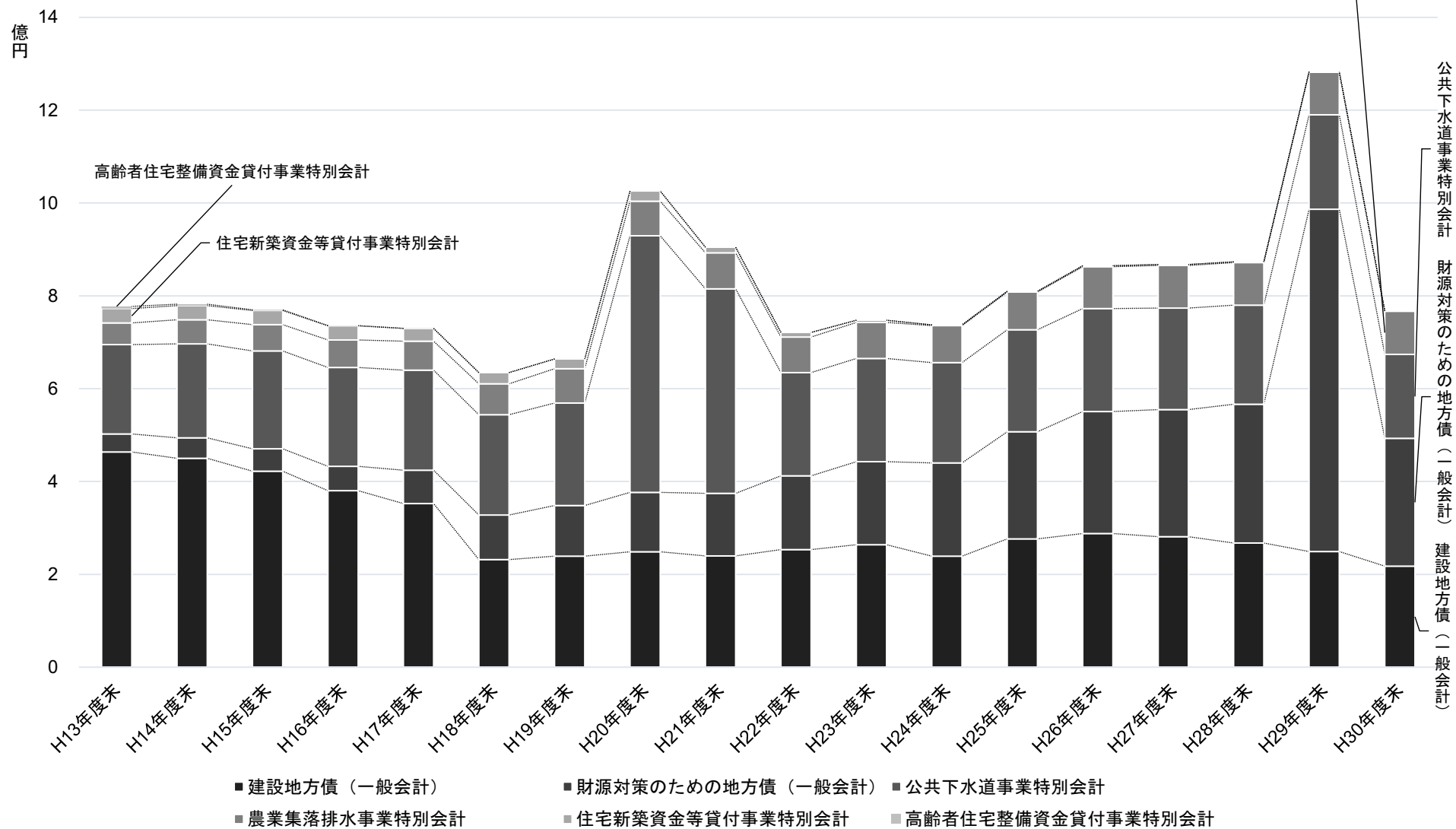


## (6) 公債費の推移

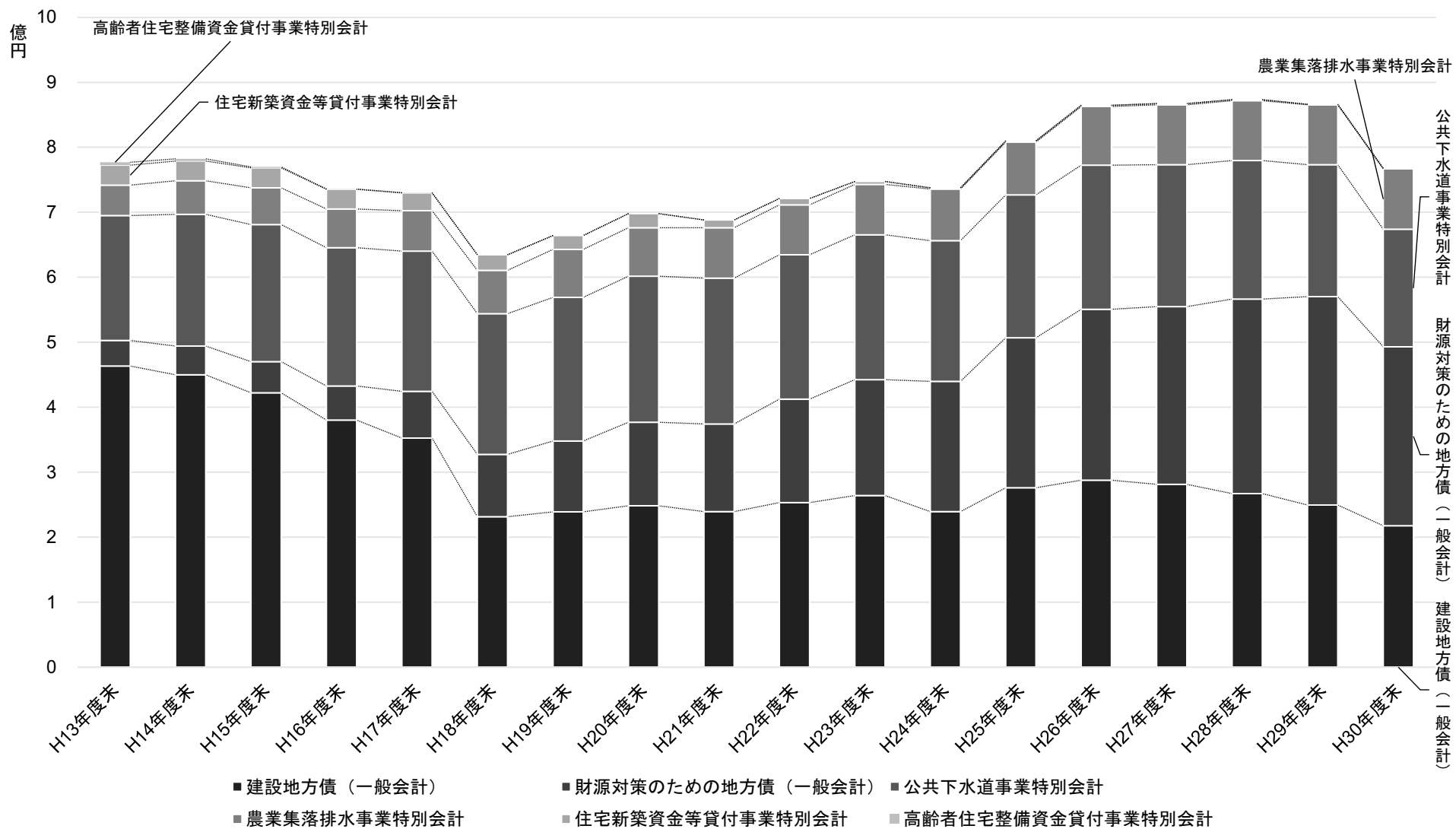
(単位：千円)

区 分	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
一 般 会 計	374,209	412,349	442,590	439,938	506,966	550,543	554,814	566,501	986,508	492,844
建設地方債	239,470	253,385	264,008	239,329	276,244	287,798	281,303	267,270	249,338	217,491
臨時財政特例債	241	241	174							
調整債	466	467	218							
減税補てん債	32,762	33,226	33,227	33,172	33,151	33,050	16,116	16,019	15,969	15,969
臨時税収補てん債	4,320	4,321	4,320	4,320	4,320	4,321	4,320	4,320	4,320	
臨時財政対策債	96,950	120,709	140,643	163,117	193,251	225,374	253,075	278,892	716,881	259,384
うち繰上償還分									416,520	
特 別 会 計	530,287	308,738	304,849	297,628	302,927	314,135	312,485	306,760	296,151	274,615
公共下水道事業	440,960	222,245	222,616	216,303	219,846	221,891	218,512	213,184	203,304	181,027
うち繰上償還分	216,500									
農業集落排水事業	77,463	76,729	77,637	79,570	81,326	90,489	92,218	92,219	92,218	92,958
住宅新築資金等貸付事業	11,864	9,764	4,596	1,755	1,755	1,755	1,755	1,357	629	630
計	904,496	721,087	747,439	737,566	809,893	864,678	867,299	873,261	1,282,659	767,459

# 公債費の推移



# 公債費の推移（繰上償還除く）





5. 主要事業一覧表

(款) 2 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
1 一般管理費	継続	補助金等 審査委員会 144,800 (145千円)	1 報酬		55P	平成26年度補助金等審査委員会の答申で優先度の高い補助金等から複数年にわたって審査を行うことが提案された。この答申内容を踏まえて、優先度の高い補助金等から5分割し、5年で1サイクルとして平成28年度より毎年度、審査を行うことを決定した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政	
			・補助金等審査委員会委員	118,800					
			8 報償費		57P				
			・補助金等審査委員会謝礼	24,000					
	11 需用費		—						
	・食糧費(行政改革)	2,000							
○ 一般財源	144,800								
	継続	組織機構改革 支援業務 2,754,000 (2,900千円)	13 委託料		57P	現状の全事務事業及び人的工数並びに関連計画等を分析し、組織機構改革実施に向けた行政運営上の課題を把握するとともに、適正かつ効率的・効果的な行政サービスの展開のための新たな業務体制構築の検討を各取組み実施のもと行った。	総務政策課 (政策室)	町民 行政	
・組織機構改革支援業務委託			2,754,000						
○ 一般財源	2,754,000								
	継続	自治会事務委託 38,460,000 (38,460千円)	13 委託料		57P		広報誌、行政連絡文書の配布・回覧等を委託し、住民サービスの充実及び町政の能率的かつ円滑な運営が図られた。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
・自治会事務委託料			38,460,000						
○ 一般財源			38,460,000						

## (款) 2 総務費

## (項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 一般管理費	継続	自治会活動 支援事業 8,683,750円 (8,977千円)	8 報償費		55P	より良い地域づくりを目指すことを目的として自治会活動の全般にわたり助成を行った。地域づくりの拠点となる集会所の修理費用や維持管理の一部を助成し、地域住民の福祉の向上を図った。各自治会において、地域づくり振興事業として「ふれあい交流会」、「夏祭り」等自主的な取組による地域に根差した活動の支援をした。集会所等整備事業としては、大久保寺下自治会の玄関改修工事、カーテン工事、大久保寺上自治会の会議用机、会議用椅子購入設置の実績に対し補助金を交付した。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			・講師謝礼	20,000				
			14 使用料及び賃借料					
			・住民広場借地料	1,212,750				
19 負担金、補助及び交付金		59P	・自治会振興助成金	2,600,000				
・自治会連合会活動補助金	100,000							
・地域づくり振興事業補助金	1,280,000							
・集会施設地代助成事業補助金	120,000	43P	・集会施設等整備事業補助金	827,000				
・魅力あるコミュニティ助成事業 助成金	1,824,000							
・集会施設維持管理における交付 金	600,000							
・吉岡町・大樹町自治会交流事業 交付金	100,000	—	○ 一般財源	6,859,750				
5 財産管理費	継続	役場庁舎 非常用発電機 設置事業 23,943,600 (24,944千円)	13 委託料		63P	災害等により電気が供給されなくなった際にも、災害対策本部としての機能を果たせるよう、庁舎敷地内に非常用発電機を設置し、防災機能の強化を図った。 (発電機73KVA、タンク容量軽油950L)	財務課 (財政室)	安全 便利
			・役場庁舎非常用発電機設置工事 監理業務委託	1,296,000				
			15 工事請負費		—			
・役場庁舎非常用発電機設置工事	22,647,600	63P	8 報償費					
○ 一般財源	23,943,600							
・男女共同参画推進委員謝礼	123,200							
6 企画費	継続	男女共同参画事業 2,982,059 (3,533千円)	11 需用費		65P	男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画計画策定を行った。	町民生活課 (町民サービス室)	町民 行政
			・消耗品費(男女共同参画)	7,659				
			13 委託料		—			
・男女共同参画計画策定業務委託 料	2,851,200							

## (款) 2 総務費

## (項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 企画費	継続	ふるさと納税 推進事業 3,774,876 (4,839千円)	11 需用費 ・返礼品(ふるさと納税) 2,279,499	63P	ふるさと納税事務全般を、全国でサイトを運営している業者に引き続き業務委託することで、インターネット申込みやクレジット決済等により寄附者の利便性を高め、また、新たな町内の返礼品提供業者の発掘により返礼品の充実を図るなど、町の魅力をアピールし、さらなる自主財源の確保を図った。	財務課 (財政室)	町民 行政	
		12 役務費 ・郵便料(ふるさと納税) 72,655 ・返礼品配送料(ふるさと納税) 594,684 ・公金決済手数料(ふるさと納税) 68,474	65P					
		13 委託料 ・ふるさと納税一括代行業務委託 710,964						
		14 使用料及び賃借料 ・ふるさとチョイス利用料 48,600 (ふるさと納税)						
	○ 一般財源 3,774,876	—						
	新規	第6次総合計画 策定業務 2,403,891 (2,997千円)	12 役務費 ・郵便料(企画費) 492,291 13 委託料 ・総合計画アンケート調査業務 委託 1,911,600	65P	令和3年度から令和12年度までの10年間の計画期間とする「第6次吉岡町総合計画」の策定に向け、町の現状評価や定住意向をはじめ、今後期待するまちづくりの方向や各分野における施策要望など、住民の意識構造の実態を把握し、計画づくりの基礎資料とするため、アンケート調査を実施した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政	
	○ 一般財源 2,403,891	—						
	継続	イメージアップ 事業 63,831 (156千円) 総合戦略	8 報償費 ・謝礼(企画費) 17,600 ・イメージアップ事業記念品 (企画費) 43,088 11 需用費 ・消耗品費(企画費) 2,643 ・食糧費(企画費) 500	63P	総合戦略事業及び第5次総合計画のよしおか再発見プロジェクトの一環として行うもの。 3回目となるフォトコンテストを開催し、町の魅力を再発見するとともに、町の魅力を広く内外に発信した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政	
	○ 一般財源 63,831	—						
	新規	公共交通 オープンデータ化事 業 7,000 (7千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・公共交通オープンデータ化 負担金 7,000	65P	公共交通の利用促進に向けた取組みとして、バス停の座標やバスの時刻表のデータをオープンデータ化し、インターネットで乗換検索を可能にするもので、データは県ホームページにて公開のほか、スマートフォン用アプリも公開された。	総務政策課 (政策室)	安全 便利	
	○ 一般財源 7,000	—						

## (款) 2 総務費

## (項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 企画費	継続	相乗り推奨 タクシー運賃等 助成事業 255,160 (400千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費 (交通対策事業用) 83,160	63P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより、タクシーを活用した外出機会の創出を図り、もって日常生活の利便性の向上に資することを目的として、実証実験を行っていたが、当該事業が本地域の移動手段に適した公共交通システムと位置づけ、平成30年度から本格実施した。	総務政策課 (政策室)	安全 便利	
			13 委託料 ・相乗り推奨タクシー運賃等助成 事業委託 172,000	65P				
			○ 一般財源 255,160	—				
6 企画費	継続	図柄入りナンバー導 入推進事業 96,006 (123千円)	12 役務費 ・手数料 (交通対策事業用) 22,500	65P	平成26年11月導入の前橋ナンバーを図柄入りとすることで、その相乗効果から、より一層の地域の魅力発信、地域経済の活性化及びブランド力の向上を図るものである。平成30年10月の交付開始に伴い、前橋市とともに啓発事業、商標登録を行ったほか町公用車3台のナンバープレートを交換した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政	
			19 負担金、補助及び交付金 ・図柄入りナンバー導入推進事業 負担金 73,506					—
			○ 一般財源 96,006					
6 企画費	拡充	高校生等 通学支援事業 942,000 (1,200千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・高校生等通学支援事業補助金 942,000	65P	公共交通の利用促進と高校生等を持つ世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期に対する補助事業を実施した。平成30年度は要綱を見直し、5,000円/月以上で1,000円、10,000円/月以上で2,000円の補助を行い、多くの利用をいただいた。	総務政策課 (政策室)	安全 便利	
			○ 一般財源 942,000	—				

## (款) 2 総務費

## (項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 企画費	継続	ふるさと祭り 7,557,305 (7,561千円)	11 需用費		63P	誰もが気軽に参加でき、楽しみながら親交を深め合い、明るく心豊かな町づくりに寄与することを目的とし、10月7日(日)に役場北駐車場にてふるさと祭りを実施した。 当日は友好都市協定を締結した北海道大樹町の特設ブースを設けたほか、各自治会による発表などが行われ、概ね7,200人が来場した。	町民生活課 (生活環境室)	町民行政
			・消耗品費(ふるさと祭り)	1,063,990				
			・食糧費(ふるさと祭り)	733,296				
			・印刷製本費(ふるさと祭り)	180,079	65P			
			12 役務費					
			・クリーニング代(ふるさと祭り)	41,636				
			・各種保険料(ふるさと祭り)	371,080	67P			
13 委託料								
・業務委託料(ふるさと祭り)	2,089,024							
14 使用料及び賃借料		67P						
・文化センター使用料(ふるさと祭り)	21,000							
・借上料(ふるさと祭り)	2,797,200							
19 負担金、補助及び交付金		43P						
・ふるさと祭り交付金	260,000							
20 諸収入		—						
・ハロウィンジャンボ宝くじ市町村交付金	4,272,000	—						
○ 一般財源	3,285,305	—						
8 諸費	継続	放課後児童見守り パトロール事業 2,250,270 (2,309千円) 総合戦略	13 委託料		67P	子育て世代の女性が安心して育児に取り組める環境の整備を目的として、放課後児童見守りパトロールを実施した。見守りパトロールの内容は、公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分のパトロールを239日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・放課後児童見守りパトロール委託料	2,250,270				
	○ 一般財源	2,250,270	—					
継続	防犯カメラ 設置事業 2,302,584 (2,477千円) 総合戦略	11 需用費		67P	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カメラを6台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
		・防犯カメラ電気料	85,344					
		・防犯カメラ修繕料	25,920					
15 工事請負費		—						
・防犯カメラ設置工事	2,191,320							
○ 一般財源	2,302,584	—						

## (款) 2 総務費

## (項) 1 総務管理費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
8 諸費	継続	防犯事業 3,717,863 (3,735千円)	11 需用費		67P	防犯委員会による啓発活動や、LED防犯灯 (25灯)を設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・防犯用事務・事業用品	125,905				
			12 役務費					
			・防犯活動保険料	8,400				
			14 使用料及び賃借料					
			・防犯灯リース料(916灯)	2,018,124				
			・防犯灯リース料(30灯)	81,648				
15 工事請負費								
・防犯灯設置工事	898,786							
19 負担金、補助及び交付金								
・渋川地区広域圏暴力団排除 推進協議会負担金	54,000							
・県防犯連渋川支部会費	431,000							
・防犯委員会補助金	100,000	69P						
○ 一般財源	3,717,863	—						
10 交通対策費	継続	道路交通安全施設整 備事業 5,459,404 (5,500千円)	15 工事請負費		69P	道路反射鏡(19箇所)、区画線(2,525 m)、交通 安全広告塔(1箇所)などを整備し、交通安全の向 上を図った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利
			・道路交通安全施設工事	5,459,404				
			11 交通安全対策特別交付金		19P			
			・交通安全対策特別交付金	3,390,000				
○ 一般財源	2,069,404	—						
14 温泉事業費	継続	吉岡町緑地運動 公園及びリバート ピア吉岡管理業務 35,156,904 (37,596千円)	11 需用費		71P	○主な経費 ・印刷製本費(温泉招待券):198,384円 ・修繕料(温泉施設用):5,833,080円 ・緑地運動公園及びリバートピア吉岡指定管理料 :18,900,000円 ・リバートピア吉岡更衣室及び廊下系統空調機更 新工事:8,640,000円 ・リバートピア吉岡男女便所系統給水管改修及び フラッシュバルブ交換工事:982,800円 ・男女脱衣室用エアーカーテン更新工事: 602,640円	財務課 (財政室)	町民 行政
			・印刷製本費	198,384				
			・修繕料(温泉施設用)	5,833,080				
			13 委託料					
			・緑地運動公園及びリバートピア 吉岡指定管理料	18,900,000				
			15 工事請負費					
・温泉施設改修工事	10,225,440							
○ 一般財源	35,156,904	—						

## (款) 3 民生費

## (項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
4 老人福祉費	継続	ねたきり老人等 介護慰労金事業 2,970,000 (4,500千円)	20 扶助費□□		83P	在宅で介護している介護者の労をねぎらうため、年1回支給する。 ・支給対象 1年間継続して要介護状態で、入院入所が年間100日以内の方を介護している家族等。  【実績】 要介護1・2 20,000円 63名 要介護3 40,000円 19名 要介護4 100,000円 8名 要介護5 150,000円 1名	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉	
			・介護慰労金	2,970,000					
			15 県支出金		31P				
				・新・介護慰労金支給事業費	30,000				
				補助金(県単)					
				○ 一般財源	2,940,000	—			
	継続	敬老祝金品 支給事業 6,899,296 (7,027千円)	8 報償費		83P	敬老の意を表するため、祝金を年1回支給する。  【実績】 80.85歳 10,000円 227名 88.90.95.101歳以上 20,000円と祝品 176名 100歳 50,000円と祝品 6名	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉	
			・敬老の日祝い品	743,750					
			11 需用費						
・消耗品費			25,856						
・食糧費			39,690						
20 扶助費			・敬老年金	6,090,000					
			○ 一般財源	6,899,296	—				
継続	介護保険事業 特別会計繰出金 179,420,220 (194,483千円)	28 繰出金		83P	介護保険事業特別会計への繰出金。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康福祉		
		・介護保険事業特別会計繰出金	179,420,220						
		14 国庫支出金		23P					
		・低所得者介護保険料軽減負担金 (現年度分)	855,000						
		・低所得者介護保険料軽減負担金 (過年度分)	21,600						
		15 県支出金		29P					
・低所得者介護保険料軽減負担金 (現年度分)	427,500								
18 繰入金		37P							
			・介護保険事業特別会計繰入金	586,761					
			○ 一般財源	177,529,359	—				

## (款) 3 民生費

## (項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
6 障害者福祉費	継続	障害者自立支援 事業 273,870,301 (293,942千円)	11 需用費			83P	障害を抱える方の日常生活及び社会生活を支えるため、障害福祉サービス費、補装具費、障害者医療費等の支給を行う。  【障害福祉サービス等事業実績(延件数)】 ・居宅介護(259件) ・同行援護(68件) ・療養介護(36件) ・生活介護(386件) ・短期入所(88件) ・施設入所支援(257件) ・共同生活援助(156件) ・宿泊型自立訓練(55件) ・自立訓練(16件) ・就労移行支援(45件) ・就労継続支援(465件) ・サービス利用計画等(290件) ・地域定着支援(21件)  【補装具事業実績(延件数)】 ・補装具(32件)  【障害者医療費事業実績(実件数)】 ・更生医療(4件) ・育成医療(5件) ・療養介護医療(3件)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・消耗品費	27,452					
			・印刷製本費	49,140					
			12 役務費			85P			
			・自立支援医療費支払手数料	2,366					
			・障害福祉サービス費支払手数料	382,200					
			・療養介護医療費支払手数料	1,288		87P			
			・育成医療審査手数料	12,960					
			14 使用料及び賃借料						
			・障害システムリース料	311,040		23P			
			19 負担金、補助及び交付金						
			・居宅介護	19,211,718					
			・療養介護	9,366,520					
			・生活介護	82,663,752					
・短期入所	8,520,522								
・施設入所支援	32,864,850								
・同行援護	3,108,925								
・自立訓練	2,734,649								
・就労移行支援	6,058,465								
・就労継続支援	58,163,710								
・共同生活援助	14,437,109								
・宿泊型自立訓練	5,974,816								
・計画相談支援費	4,747,258								
・地域定着支援費	64,110								
20 扶助費									
・障害福祉サービス利用給付金	257,875								
・更生医療給付	5,044,106								
・育成医療給付	694,808								
・補装具交付	3,410,060								
・補装具修理	541,452								
・療養介護医療費	1,824,670								
・高額障害福祉サービス費等 給付費	51,280								
23 償還金、利子及び割引料									
・返納金	13,343,200								
14 国庫支出金									
・障害者自立支援給付費国庫負担 金	134,437,800								



			<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者医療費国庫負担金 5,835,000</li> </ul>				
			15 県支出金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者自立支援給付費県負担金 67,218,900</li> <li>・障害者医療費県負担金 2,917,500</li> <li>・障害福祉サービス利用給付事業補助金 193,000</li> </ul> ○ 一般財源 63,268,101	27P 31P —			
	継続	障害児支援事業 75,166,607 (105,768千円)	19 負担金、補助及び交付金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児通所支援 66,032,239</li> <li>・障害児相談支援 2,007,101</li> </ul> 20 扶助費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額障害児（通所・入所）給付費 6,900</li> </ul> 23 償還金、利子及び割引料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・返納金 7,120,367</li> </ul> 14 国庫支出金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援費国庫負担金 49,312,600</li> </ul> 15 県支出金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児支援費県負担金 24,656,300</li> </ul> ○ 一般財源 1,197,707	85P 87P 23P 27P —	児童発達支援、放課後等デイサービス利用者に対し、障害児通所支援費の支給を行う。 また、支援費の受給者に対し、どのようにサービスを利用していくかの計画作成を行い、定期的にモニタリングを行う相談支援費を支給する。 ・児童発達支援給付 延113人 ・放課後等デイサービス 延506人 ・高額障害児通所給付 延3人 ・障害児相談支援給付 延111人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
7 医療福祉費	継続	医療費無料化事業 207,683,917 (217,839千円)	11 需用費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 26,740</li> <li>・印刷製本費（事業用） 51,840</li> </ul> 12 役務費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便料 44,718</li> </ul> 13 委託料 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保険者事務電算処理委託料 1,258,099</li> <li>・医療助成システム改修業務 918,000</li> <li>・審査支払委託料 3,359,546</li> </ul> 20 扶助費 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費 202,024,974</li> </ul> 15 県支出金 <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療福祉費県補助金 98,438,666</li> </ul> 20 諸収入 <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉医療費納入金 2,316,135</li> </ul> ○ 一般財源 106,929,116	87P 31P 43P —	子ども、重度心身障害者、母子・父子家庭の方の健康管理の向上に寄与するために、社会保険等で医療を受けた場合の自己負担分を公費で負担する。  <b>【実施内容】</b> 件数73,580件で1,421件増 医療費202,024,974円で448,478円増	健康福祉課 (保険室)	健康福祉

## (款) 3 民生費

## (項) 1 社会福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
9 老人福祉 センター費	継続	老人福祉センター 管理業務 16,007,000 (16,007千円)	13 委託料		89 P	老人福祉センターの管理を、社会福祉法人吉岡 町社会福祉協議会を指定管理者として行わせるこ とにより、効率的運営と住民福祉の向上を図る。	健康福祉課 (高齢福祉室)	健康 福祉
			・老人福祉センター指定管理料	16,007,000				
			○ 一般財源	16,007,000	—			
10 後期高齢者 医療費	継続	後期高齢者医療 事業特別会計 繰出金 44,627,391 (45,279千円)	28 繰出金		89 P	後期高齢者医療事業特別会計への繰出金。  【実施内容】 対前年度：+2,194,287円(+1.05%)	健康福祉課 (保険室)	健康 福祉
			・後期高齢者医療事業特別会計 事務費等繰出金	10,572,561				
			・後期高齢者医療事業特別会計 保険基盤安定繰出金	34,054,830				
			15 県支出金		27 P			
・後期高齢者医療保険基盤安定 制度負担金	25,541,122							
			○ 一般財源	19,086,269	—			

## (款) 3 民生費

## (項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 児童福祉 総務費	継続	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 0 (0千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費 0	0	91P	澁川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定する。 平成30年度は、新たに指定された施設はなく、増刷についても在庫に余裕があるため実施なしとなった。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
		○ 一般財源 0	0	—				
	継続	ファミリー・ サポート・ センター事業 522,560 (571千円)	13 委託料 ・ファミリー・サポート・セン ター広域実施委託料 522,560	522,560	91P	地域子ども・子育て支援事業のひとつで、「育児援助を受けたい人」と「育児援助を行いたい人」が会員となり、センターを通じて子育ての相互援助活動(子どもの預かり・保育施設等への送迎など)を有料で行うもの。 澁川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、澁川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
		○ 一般財源 522,560	522,560	—				
継続	産前・産後 サポート事業 51,918 (64千円) 総合戦略	13 委託料 ・産前・産後サポート事業 広域実施委託料 51,918	51,918	91P	育児・家事等の支援を必要とする、産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1回につき1,700円(2時間)で、3回までを町が負担し、4回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は6回までを町が負担する。 澁川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、澁川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
	○ 一般財源 51,918	51,918	—					
新規	子ども・子育て 支援事業計画 策定業務 3,609,706 (4,270千円)	12 役務費 ・郵送料 261,706 13 委託料 ・子ども・子育て支援事業 計画調査業務委託料 3,348,000	261,706 3,348,000	91P	吉岡町子ども・子育て支援事業計画は、平成27年度から平成31年度までの5年間で事業年度として策定されている。 令和2年度からの次期事業計画策定にあたり、平成30年度は、基礎資料とするための住民アンケート調査を実施した。 また、子どもの貧困対策に係るアンケート調査も併せて実施した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
	○ 一般財源 3,609,706	3,609,706	—					

## (款) 3 民生費

## (項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 児童手当費	継続	児童手当支給事業 400,250,000 (401,400千円)	20 扶助費		91P	児童の年齢等に応じて、以下の手当を支給する。 ・0～3歳未満：15,000円/月 ・3歳～小学生(第1・2子)：10,000円/月 ・3歳～小学生(第3子以降)：15,000円/月 ・中学生：10,000円/月 ・特例給付：5,000円/月	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・児童手当	400,250,000				
			14 国庫支出金		23P			
			・児童手当国庫負担金	280,436,666				
			15 県支出金		29P			
			・児童手当県負担金	59,906,666				
			○ 一般財源	59,906,668	—			
3 児童保育費	継続	子どものための 教育・保育給付 857,731,083 (873,012千円)	13 委託料		91P	子ども・子育て支援新制度により、従来バラバラに行われていた認定こども園、幼稚園、保育所等に対する国の財政支援の仕組みが統一されたもの。 ・保育所運営委託 保育を必要とする乳幼児を対象に、健全な心身の発達を目的として、町内在住の乳幼児が通う町内外の私立及び公立の認可保育所に対して委託料を支払う。 町内5保育所のほか、町外の各保育所に対して支払いを行った。 ・施設型給付 町内在住の乳幼児が通う町内外の認定こども園、幼稚園等に支払いを行う。 町内外の各認定こども園、幼稚園に対して支払いを行った。 なお、施設型給付に移行しない幼稚園については、幼稚園就園奨励補助の対象となる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・保育所運営委託料	684,624,640				
			19 負担金、補助及び交付金		93P			
			・施設型給付費	173,106,443				
			12 分担金及び負担金		19P			
			・保育運営費保護者負担金 (現年度分)	153,696,420				
			・保育運営費保護者負担金 (過年度分)	908,000				
			14 国庫支出金		23P			
・子どものための教育・保育 給付費国庫負担金	270,060,372							
			15 県支出金		27P			
			・子どものための教育・保育 給付費県負担金	124,784,713				
			・3歳未満児第3子以降保育料 無料化事業県補助金	3,284,000				
			・群馬県施設型給付費等補助金	15,683,000	31P			
			○ 一般財源	289,314,578	—			

## (款) 3 民生費

## (項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
3 児童保育費	継続	地域子ども・ 子育て支援事業 14,099,507 (16,075千円)	13 委託料			91P	すべての子育て家庭を対象に、地域のニーズに応じた様々な子育て支援を充実するもので、乳幼児健康支援一時預かり事業(病後児保育)、地域子育て支援拠点事業、一時預かり事業、延長保育事業などを実施する。 乳幼児健康支援一時預かり事業は、病後児保育事業の実施を竹内小児科に委託し、支払いを行った。 地域子育て支援拠点事業は、吉岡町子育て支援センターいちょうクラブの事業実施に対して委託料の支払いを行った。 一時預かり事業については、町内5保育所のほか、町内外の認定こども園の事業実施に対して支払いを行った。 延長保育事業については、町内の事業を実施している保育所に対して支払いを行った。 ※ 別掲の学童クラブ、ファミリー・サポート・センター、妊婦健康診査も地域子ども・子育て支援事業に含まれる。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・乳幼児健康支援一時預かり 事業委託料	2,440,000					
			・地域子育て支援拠点事業運営 委託料	7,951,000					
			19 負担金、補助及び交付金			93P			
			・一時預かり事業補助金	1,559,200					
			・延長保育費補助金	2,149,307					
			12 分担金及び負担金			19P			
	・一時保育料保護者負担金	864,000							
	・延長保育料保護者負担金	1,337,100							
	・病後児保育料保護者負担金	65,000							
	14 国庫支出金			25P					
	・子ども・子育て支援交付金	3,712,000							
	15 県支出金			31P					
	・子ども・子育て支援交付金	3,712,000							
○ 一般財源		4,409,407	—						
継続	保育所助成事業 18,240,700 (21,887千円)	19 負担金、補助及び交付金			93P	子ども・子育て支援新制度による国の財政措置を受けず、地方単独事業として障害児保育費補助金及び保育充実促進費補助金を支給し、児童福祉の充実を図るもの。 障害児保育費補助については、町内の2保育所に対して支払いを行った。 保育充実促進費補助については、町内の6保育所等が行った1歳児の保育士配置改善及び園児のアレルギー対策の実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉	
		・障害児保育費補助金	657,000						
		・保育充実促進費補助金	17,583,700						
		15 県支出金			31P				
		・保育充実促進費補助金	8,617,450						
20 諸収入			43P						
・保育充実促進費他市町村 負担金	168,950								
○ 一般財源		9,454,300	—						

## (款) 3 民生費

## (項) 2 児童福祉費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 児童保育費	継続	保育士等確保事業 2,350,000 (4,500千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・保育士等確保事業補助金	2,350,000	93P	吉岡町では、人口増に伴う年度途中の低年齢児の入所により、保育士等の増員が必要となる場合が多いが、途中入所に対応した保育士等の確保が困難な状況にある。 保育所等では、年度途中の園児数の増加を見込み、年度当初の在園児数に対する保育士等数の配置基準以上に余剰配置することで、途中入所の増加に対応すべく体制を整えているが、当該基準を超えた保育士等に係る経費は、公費負担の算定とならない。 そのため、当該経費の一部を補助することにより、年度途中の園児の受入態勢の充実を図る。 町内6保育所等の事業実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
		○ 一般財源	2,350,000	—				
3 児童保育費	新規	私立保育所等 施設整備助成事業 0 (222,708千円) 総合戦略	19 負担金、補助金及び交付金 ・私立保育所等施設整備補助金	0	0	増加している低年齢児の保育ニーズに対応するほか、児童の保育環境等の改善を図るため、町内の保育所等の施設整備にかかる費用の一部を助成するもの。 平成30年度は、第三保育園の園舎新築を助成予定であったが、平成31年度に繰り越しとなったため予算の執行なし。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
		14 国庫支出金 ・保育所等整備交付金(私立 保育所等施設整備助成事業)	0	—				
5 学童保育 事業費	継続	学童クラブ 管理業務 17,087,061 (20,027千円)	11 需用費 ・電気料	5,598	93P	吉岡町学童クラブの管理を、社会福祉法人吉岡町社会福祉協議会を指定管理者として行わせることにより、効率的運営と住民福祉の向上を図る。 指定管理期間は、平成29年度から令和3年度までの5年間。 また、民間学童クラブの運営に対して補助金を交付するほか、待機児童が発生し民間学童クラブに入所することとなった場合には、利用料の差額の一部を助成する。 施設用備品については、AED本体の使用期限が切れたため買い替えたもの。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			13 委託料 ・学童クラブ指定管理料	16,313,653				
			14 使用料及び賃借料 ・学童クラブ駐車場借地料	346,610	95P			
			18 備品購入費 ・施設用備品	421,200	25P			
			14 国庫支出金 ・子ども・子育て支援交付金	5,343,000	31P			
	15 県支出金 ・子ども・子育て支援交付金	5,343,000	—					
	○ 一般財源	6,401,061	—					

## (款) 4 衛生費

## (項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 保健衛生 総務費	継続	住宅用太陽光 発電システム設置補 助金 5,249,000 (6,000千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・住宅用太陽光発電システム 設置整備事業補助金 5,249,000	97P	—	住宅用太陽光発電システムを設置した町民(54件)に対し補助金を交付し、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの普及促進を図った。 交付金額は25,000円/kwとし、上限は100,000円(4kw)とする。	町民生活課 (生活環境室)	自然 環境
	継続	国民健康保険事業 特別会計繰出金 111,052,657 (140,618千円)	28 繰出金 ・国民健康保険事業特別会計 繰出金 111,052,657	97P				
		14 国庫支出金 ・国保基盤安定補助金 18,074,641						
		15 県支出金 ・国保基盤安定補助金 57,058,226						
			○ 一般財源 35,919,790					
3 母子衛生費	継続	子育て相談 支援事業 618,000 (672千円) 総合戦略	8 報償費 ・健康相談謝礼 618,000	99P	—	子育て世代が安心して子どもを生み育てるための支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実するとともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実(栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図る。 また、第二子への保健師による訪問・電話相談を実施し、早期の支援を行う。 ・運動発達の相談 来所者35人 ・ことばの相談 来所者18人 ・母乳相談に栄養士を追加で配置 ・保健師の第二子訪問77件、電話相談20件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康 福祉
	継続	こどものこころの 発達健診 220,000 (240千円) 総合戦略	8 報償費 ・こどものこころの発達健診謝礼 220,000	99P				
		○ 一般財源 220,000						

## (款) 4 衛生費

## (項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 母子衛生費	継続	年中児こころの 成長アンケート 267,030 (455千円) 総合戦略	8 報償費 ・年中児こころの成長アンケート 謝礼 102,000		99P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 5歳に達する児童の保護者にアンケートを行うことでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会でフォローしていくとともに、二次障害(不登校・ひきこもり・精神疾患)の予防につなげていく。 ・アンケート送付者226人、回答163人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
		11 需用費 ・印刷製本費(年中児こころの成長アンケート) 71,064						
		12 役務費 ・郵便料(年中児こころの成長アンケート) 93,966						
			○ 一般財源 267,030		—			
3 母子衛生費	継続	発達支援教室 968,230 (1,139千円) 総合戦略	8 報償費 ・発達支援教室謝礼 762,300		99P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 年中児こころの成長アンケートで発達障害の疑いがあり、発達支援教室への参加が必要となった児童及びその保護者に対し、医師・保育士・作業療法士・心理士・保健師がアドバイスを行う。 ・教室該当者36人、参加者16人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
		11 需用費 ・消耗品費(発達支援教室) 61,930						
		13 委託料 ・発達支援教室委託料 144,000						
			○ 一般財源 968,230		—			
3 母子衛生費	継続	妊婦健康診査 支援事業 17,834,544 (21,848千円)	13 委託料 ・妊婦健康診査委託料 17,524,930		99P	全妊婦を対象に妊婦健康診査受診票を交付し、医療機関や助産所にて妊婦健康診査を実施することにより、母体や胎児の疾患の早期発見と健康管理を行うもの。 1人につき、14回分(98,730円)を公費負担する。 平成30年度より、全ての新生児を対象に聴覚検査を新たに実施し、1人につき上限3,100円を負担することで、聴覚障害の早期発見・早期療育につなげる。 ・配布3,062枚、使用2,552枚	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
		19 負担金、補助及び交付金 ・妊婦健康診査補助金 309,614						
		○ 一般財源 17,834,544						



## (款) 4 衛生費

## (項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 母子衛生費	継続	不妊・不育対策 支援事業 4,002,000 (5,680千円) 総合戦略	20 扶助費		99P	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。 平成28年度からは、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・特定不妊治療…体外受精及び顕微授精 ・一般不妊治療…排卵誘発法、人工授精など ・男性不妊治療…特定不妊治療のうち、精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術 ・不育症…反復して妊娠はするが、流産や早産、死産などで健常な生児に恵まれない状態  ・特定不妊治療助成件数(延件数)37件 ・一般不妊治療助成件数(延件数)31件 ・男性不妊治療助成件数(延件数)1件 ・不育症治療費助成件数(延件数)0件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・特定不妊治療費	2,862,000				
			・一般不妊治療費	1,110,000				
			・男性不妊治療費	30,000				
			○ 一般財源	4,002,000	—			
4 健康増進費	継続	検診事業 37,638,468 (38,580千円)	7 賃金		101P	町民を対象にがん検診(胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん)のほか、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診等を実施し、疾病の早期発見・早期治療につなげる。平成28年度からは、胃内視鏡検診を導入し、バリウムと胃内視鏡のいずれかを選択できる体制を整えた。  検診受診者数 胃がん検診(バリウム) 866名 胃がん検診(胃内視鏡) 332名 大腸がん検診 1,684名 胸部レントゲン検診 1,876名 子宮頸がん検診 1,246名 乳がん検診 1,059名 前立腺がん検診 637名 肝炎検診 183名 歯周疾患検診 147名	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・臨時賃金	135,000				
			8 報償費					
			・健康診査謝礼	85,250				
			11 需用費					
			・印刷製本費(事務用)	396,576				
			12 役務費					
			・検診関係通知郵便料	1,783,162				
			13 委託料					
			・健康診査等委託料	32,441,280				
・事務委託料	2,797,200							
14 国庫支出金		25P						
・がん検診推進事業費補助金	5,000							
15 県支出金		31P						
・健康増進事業費県補助金	1,140,316							
○ 一般財源	36,493,152	—						

## (款) 4 衛生費

## (項) 1 保健衛生費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
4 健康増進費	継続	健康No.1 プロジェクト事業 2,804,612 (2,994千円)	8 報償費		101P	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか健康No.1プロジェクト」は保健・医療・福祉の各専門家と自治会の傘下である「よしおか健康推進協議会」などが連携し、健康づくりに関する事業の開催や、各地域独自の推進活動を行っている。平成30年度は講演会や運動教室、栄養講座、体力測定会、軽スポーツ交流会など従来の事業のほか、昨年度好評だった「よしおか健康まつり」を2年続けて開催し、子どもからお年寄りまで幅広い年代に参加してもらうことで健康づくりへの関心を広げることが出来た。  (よしおか健康推進協議会活動 延1,181人) (自治会での自主活動 延18,568人)	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・その他謝礼	1,065,600				
			11 需用費					
			・消耗品費	197,523				
			・食糧費	100,195				
			・印刷製本費(事務用)	21,924				
			12 役務費					
			・体力測定会手数料	76,200				
			・製作手数料	10,800				
			・傷害保険料	15,200				
13 委託料								
・健康まつりイベントブース委託料	34,500							
19 負担金、補助及び交付金								
・各種負担金	14,000							
・よしおか健康No.1プロジェクト事業補助金	1,268,670							
○ 一般財源	2,804,612							
5 環境衛生費	継続	浄化槽設置整備 事業 3,188,000 (4,511千円)	19 負担金、補助及び交付金		101P	公共下水道エリアと農業集落排水エリア以外の区域を対象に単独浄化槽及び汲み取り式から合併浄化槽への転換を推進する(エコ補助金)ほか、開発事業を除く一般住宅を対象に合併処理浄化槽設置費の一部を補助する。  ・補助金交付実績:16基(内エコ補助金 2基)	上下水道課 (下水道室)	自然環境
			・浄化槽設置整備事業費補助金	2,988,000				
			・浄化槽エコ補助金	200,000				
			14 国庫支出金		25P			
			・浄化槽設置整備事業費交付金	1,337,000				
15 県支出金		31P						
・浄化槽設置整備事業費交付金	287,000							
○ 一般財源	1,564,000							

## (款) 4 衛生費

## (項) 2 清掃費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 塵芥処理費	継続	資源ごみ回収事業補助金 3,826,600 (5,492千円)	19 負担金、補助及び交付金		103P	ごみの減量、資源の再利用及び地域コミュニティの育成を促進し、併せて廃棄物処理行政に対する町民意識の高揚を図ることを目的とし、資源ごみを回収した自治会等の営利を目的としない団体(45団体)に対して補助金を交付した。	町民生活課 (生活環境室)	自然環境
			・資源ごみ回収事業補助金	3,826,600				
			○ 一般財源	3,826,600				

## (款) 5 労働費

## (項) 1 労働諸費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 労働諸費	継続	勤労者住宅資金 利子補給事業 10,112,283 (22,290千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・勤労者住宅資金利子補給 10,112,283 ○ 一般財源 10,112,283		103P —	金融機関から資金を借り入れ、町内に専用住宅を新築し、又は新築住宅を購入した給与所得者に対し、借入額のうち1,000万円以内に対し、年利1.0%を上限(上限額100,000円)として1年間利子補給することで、給与所得者の負担を軽減した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
	継続	勤労者生活資金 融資事業 5,000,000 (5,000千円)	21 貸付金 ・勤労者生活資金融資預託金 5,000,000 20 諸収入 ・勤労者生活資金融資預託金 5,000,000		103P 41P	町内在住の勤労者に対し、該当する目的に必要な資金を100万円以内、期間5年以内で融資するもの。 このため、金融機関に資金を預託している。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用

## (款) 6 農林水産業費

## (項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 農業振興費	継続	地域特産品 生産体制構築事業 9,763,200 (11,000千円) 総合戦略	13 委託料 ・地域特産品生産体制構築事業 9,763,200 委託料 14 国庫支出金 ・地方創生推進交付金 4,881,600 ○ 一般財源 4,881,600		107P 25P —	小倉乾燥芋の生産体制構築のため、県指導センターの協力を得て有志の生産者を中心に、原料いもの収量や生産量の拡大に向けた調査及び検証を行った。栽培面では、ウイルスフリーや追肥といった栽培方法の工夫により、当初の想定より、はるかに多く収量を得られることがわかったほか、貯蔵庫を導入し安定的な温度管理を行うことで原料いもの腐敗率を格段に下げられることが確認できた。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
	継続	農業次世代投資資金 (青年就農給付金給 付事業) 750,000 (750千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・農業次世代人材投資資金 750,000 15 県支出金 ・農業次世代人材投資資金 750,000		109P 33P	経営リスクを負っている新規就農者の経営が安定した軌道にのるまでの間、最長5年間で1人年額最大150万円までを助成する。半期ごとに75万円ずつ交付し、平成30年度で交付期間が終了した。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用

## (款) 6 農林水産業費

## (項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 農業振興費	継続	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信機能 強化事業 250,000 (900千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金		109P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品のPR強化を図る事業。今年度は、道の駅で行われた「ほたる祭り」のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域PR活動が行われた。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・道の駅まつり交付金	250,000	—			
			○ 一般財源	250,000	—			
5 農地費	継続	小規模農村 整備事業 8,542,800 (10,250千円)	19 負担金、補助及び交付金		109P	上野田町裏地区及び北下北部地区において、延長517mの農業用水路の布設替工事を群馬用土地改良区が事業主体で実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
		・小規模農村整備事業負担金	8,542,800	—				
			○ 一般財源	8,542,800	—			
	継続	群馬用水施設 緊急改築事業 12,898,552 (12,899千円)	19 負担金、補助及び交付金		111P	群馬用水施設緊急改築事業の償還(9年目/17年)を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・群馬用水施設緊急改築事業 償還負担金	12,898,552	—			
			○ 一般財源	12,898,552	—			

## (款) 6 農林水産業費

## (項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
6 地籍調査費	継続	地籍調査費 24,277,592 (24,893千円)	8 報償費			111P 南下Ⅳ地区(南下下八幡、宮代、大林の一部)は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目、境界の確認及び地積(面積)に関する測量を実施した。 南下Ⅲ地区(南下長山の一部、三疋、川子、高縄)は、地籍図案及び地籍簿案を作成し、地権者への閲覧を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・地籍調査推進委員	255,200				
			9 旅費					
			・普通旅費	44,000				
			11 需用費					
			・消耗品費(事務用)	49,669				
			・消耗品費(現場用)	43,578				
			・食糧費	15,600				
			・印刷製本費	95,000				
			・材料費(現場用)	411,285				
			12 役務費					
			・郵送料	114,068				
			・傷害保険料	8,592				
			13 委託料					
			・地籍調査業務委託料	12,722,400				
・復元測量業務委託料	9,925,200							
・システム保守業務委託料	518,400							
・登記事項調査委託料	21,600							
14 使用料及び賃借料								
・駐車場使用料	4,000							
19 負担金、補助及び交付金								
・国土調査推進協議会会費	49,000							
13 使用料及び手数料			23P					
・地籍図等交付手数料	3,300							
15 県支出金			29P					
・国土調査(地籍調査)事業負担金	10,087,500							
○ 一般財源	14,186,792		—					

## (款) 6 農林水産業費

## (項) 1 農業費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
7 渇水対策 施設維持 管理費	継続	渇水対策施設 管理業務 32,290,221 (33,003千円)	11 需用費		111P	小倉沈殿池の法面工事や小倉揚水機場2号ポン プの更新、その他電気設備等の維持管理や管路施 設の修繕を実施した。	産業建設課 (用地管理室)	産業 雇用
			・消耗品費(事務用)	795				
			・消耗品費(施設用)	7,063				
			・電気料	14,627,367				
			13 委託料					
			・電気設備保守点検委託料	621,216				
			15 工事請負費					
			・管路施設等修繕工事	10,702,780				
			18 備品購入費					
			・小倉揚水機場揚水ポンプ購入費	6,264,000				
25 積立金		113P						
・渇水対策施設維持管理基金	67,000							
16 財産収入		37P						
・渇水対策施設維持管理基金 利子	65,221							
18 繰入金		39P						
・渇水対策施設維持管理基金 繰入金	26,225,000							
20 諸収入		41P						
・渇水対策施設管理費 (水道分)	6,000,000							
8 農業集落 排水事業費	継続	農業集落排水事業 特別会計繰出金 118,356,186 (122,677千円)	28 繰出金		113P	吉岡町農業集落排水事業は整備が完了してお り、各処理施設の維持管理が主体となっている。 平成30年度は不明水の防止対策、老朽管の維持 補修、各処理施設の老朽化に伴う設備の修繕・交 換および年間の維持管理業務を実施した。 また、令和2年度から法適化移行に伴い固定資 産整備や例規整備等を行った。	上下水道課 (下水道室)	自然 環境
			・農業集落排水事業特別会計 繰出金	118,356,186				
			○ 一般財源	118,356,186	—			

## (款) 7 商工費

## (項) 1 商工費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 商工総務費	継続	住宅リフォーム 促進事業 1,940,000 (3,000千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・住宅リフォーム促進事業補助金 1,940,000	1,940,000	115P —	地域経済活性化対策の一環として、住宅関連産業を中心とした地域経済の活性化を目的とするもの。 町民が居住する住宅について、町内の施工業者を利用して住宅リフォーム工事を行った場合に、費用の一部を助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
	継続	ぐんま新技術・ 新製品開発推進 事業 316,000 (400千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・ぐんま新技術・新製品開発推進 補助金 316,000	316,000	115P —	町内の中小企業者の開発意欲を助長し、その競争力強化と発展を図ることを目的とし、町内に事業所をもつ中小企業者が行う新製品・新商品の開発に係る研究開発費の一部を、県と町が連携して助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
2 観光費	継続	よしおか再発見 ウォーク 29,280 (84千円)	8 報償費 ・記念品 27,000 11 需用費 ・食糧費 0 12 役務費 ・保険料 2,280 20 諸収入 ・よしおか再発見ウォーク参加者 負担金 3,300 ○ 一般財源 25,980	27,000 0 2,280 3,300 25,980	117P 45P —	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか再発見プロジェクト」の一環として、吉岡町の魅力を掘り起こす事業。各種団体が名所・史跡、物産の魅力を紹介や提供をし、参加者がその魅力を外部へ発信することが目的。 第9回は漆原神社や水除け観音といった駒寄地区の名所等を巡った。参加賞には発着点であるリバートピア吉岡の無料券を準備し、宣伝を行った。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用

## (款) 7 商工費

## (項) 1 商工費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 観光費	継続	観光PR事業 1,399,574 (1,914千円)	8 報償費		117P	第5次総合計画のシンボルプロジェクトである「よしおか再発見プロジェクト」の一環として「伊香保などと連携したキラリと光る観光のまち」を目標に実施。 ・渋川北群馬DMO協議会の事業として日本温泉協会主催の旅と温泉展合同キャラバンにて渋川市、榛東村と連携して観光PR展示用の情報提供 ・町の観光PRのための首都圏におけるPRイベントに渋川市、榛東村と合同参加 ・観光パンフレット等の印刷 ・観光PRポスターの更新 ・ぐんまDCに向けた町内観光素材の発掘 ・伊香保街道や町内観光施設イメージアップのための花壇設置	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・記念品	32,090				
			9 旅費					
			・普通旅費	221,930				
			11 需用費					
			・消耗品費	457,170				
			・食糧費	0				
			・観光用ポスター	183,600				
・観光パンフレット	462,240							
12 役務費		33P						
・広告掲載料	37,800							
・クリーニング代	4,744							
15 県支出金		45P						
・地域振興調整費補助金	91,000							
20 諸収入		—	—					
・グリーンフラワー事業補助金	190,000							
○ 一般財源	1,118,574							

## (款) 8 土木費

## (項) 2 道路橋梁費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 道路橋梁 総務費	継続	大榛橋架け替え 事業負担金 (榛東村施行) 18,547,240 (19,187千円)	19 負担金、補助及び交付金		119P	榛東村が施工する大榛橋架け替え工事に対して町負担金を支出した。平成30年度は、平成29年度から施工の上部工及び平成30年度施工の付帯工が完成した。	産業建設課 (用地管理室)	安全 便利
			・大榛橋架け替え事業負担金 (榛東村施行) (繰越明許)	13,655,000				
			・大榛橋架け替え事業負担金 (榛東村施行)	4,892,240				
	○ 一般財源	18,547,240	—	—				
新規	滝沢大橋補修事業 (榛東村施行) 3,518,200 (3,519千円)	19 負担金、補助及び交付金		119P	吉岡町と榛東村の境界に位置する滝沢大橋の補修事業について、榛東村と締結した協定書に基づき、榛東村が設計業務委託等を実施し、事業費の1/2を町負担金として支出した。	産業建設課 (用地管理室)	安全 便利	
		・滝沢大橋補修事業負担金 (榛東村施行)	3,518,200					
		○ 一般財源	3,518,200					—



## (款) 8 土木費

## (項) 2 道路橋梁費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 道路新設 改良費	継続	渋川吉岡 連携道路事業 5,475,330 (10,727千円)	19 負担金、補助及び交付金		121P	渋川市及び吉岡町連携道路(庚申塚5号線と渋川市道)の道路詳細設計業務委託等を行い、事業を推進した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			・渋川吉岡連携道路事業負担金	5,475,330	—			
			○ 一般財源	5,475,330				
5 橋梁維持費	継続	橋梁の長寿命化 49,672,320 (50,817千円)	13 委託料		121P	町が管理する橋梁の長寿命化を図るため、定期点検、補修設計及び補修工事を実施した。平成29年度繰越事業は、補修工事(2橋)が完成した。また、平成30年度は、補修工事(3橋)を発注して翌年度に繰り越した。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利
			・橋梁補修設計積算・施工 管理業務(繰越明許)	1,969,920				
			・橋梁点検業務(補助)	11,966,400				
			15 工事請負費		123P			
			・橋梁維持補修工事(補助) (繰越明許)	20,727,600				
・橋梁維持補修工事(補助)	15,008,400							
			14 国庫支出金		25P			
			・社会資本整備総合交付金 (橋梁長寿命化修繕事業)	13,458,500				
			・社会資本整備総合交付金 (橋梁長寿命化修繕事業)(繰越明許)	7,529,500				
			○ 一般財源	28,684,320	—			

(款) 8 土木費

(項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野			
			財源内訳								
2 都市施設費	継続	南下城山防災公園 整備事業 273,814,782 (284,654千円)	9 旅費			125P	町民誰もが楽しめる大規模公園を桃井城址に整備する工事を進めた。 平成30年度は、平成29年度に引き続き公園整備を行うとともに、休憩所建築工事、トイレ建築工事、遊具設置工事、植栽工事などを実施した。 また、一部工事を翌年度に繰り越した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利		
			・普通旅費(南下城山防災公園)	15,600							
			11 需用費							127P	
			・消耗品費(南下城山防災公園)	125,000							
			・電気料(南下城山防災公園)	118							
			13 委託料								25P
			・設計積算・施工管理業務(南下城山防災公園)(繰越明許)	10,052,640							
			・オープンイベント委託料(南下城山防災公園)	339,984							
			・修正設計業務等(南下城山防災公園)	2,019,600							
			・設計積算・施工管理業務(南下城山防災公園)	5,019,840							
15 工事請負費			47P								
・建設工事(南下城山防災公園)	132,362,200										
・建設工事(南下城山防災公園)(繰越明許)	123,879,800										
14 国庫支出金			—								
・南下城山防災公園事業補助金	37,913,000										
・南下城山防災公園整備事業補助金(繰越明許)	63,289,000										
21 町債											
・緊急防災・減災事業債(南下城山防災公園整備事業)	77,000,000										
・緊急防災・減災事業債(南下城山防災公園整備事業)(繰越明許)	68,700,000										
○ 一般財源		26,912,782									

## (款) 8 土木費

## (項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
2 都市施設費	継続	駒寄スマートIC 大型車対応化事業 205,957,901 (217,204千円)	9 旅費			125P	前橋市、吉岡町及びネクスコ東日本が連携し、 駒寄スマートICの大型車対応化事業を進めた。 平成30年度は、埋設管の移設補償等を実施し、 関越自動車道東側町道の一部付替え工事などを実 施した。また、一部工事等を翌年度に繰り越し た。	産業建設課 (用地管理室) (都市建設室)	安全 便利
			・普通旅費(スマートIC)	10,360					
			11 需用費						
			・消耗品費(スマートIC)	12,348					
			13 委託料			127P			
			・用地買収地登記業務(スマートIC)	75,600					
			・駒寄スマートIC大型車対応化事業	17,158,741					
			・駒寄スマートIC大型車対応化事業(繰越明許)	11,580,240					
			15 工事請負費			25P			
			・建設工事(スマートIC)	17,355,600					
			・建設工事(スマートIC)(繰越明許)	73,772,600					
			17 公有財産購入費			45P			
			・用地買収費(スマートIC)	8,341,936					
			19 負担金、補助及び交付金			47P			
・駒寄スマートIC大型車対応化事業負担金	1,321,939								
22 補償、補填及び賠償金			—						
・補償費(スマートIC)	29,592,907								
・補償費(スマートIC)(繰越明許)	46,735,630								
14 国庫支出金									
・地域連携道路事業費補助金(駒寄スマートIC)	38,221,471								
・地域道路連携事業費補助金(駒寄スマートIC)(繰越明許)	72,648,659								
20 諸収入									
・駒寄スマートIC大型化事業に係る前橋市負担金	25,678,884								
・駒寄スマートIC大型化事業に係る前橋市負担金(繰越明許)	44,579,858								
○ 一般財源		24,829,029							

## (款) 8 土木費

## (項) 4 都市計画費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 下水道費	継続	公共下水道事業 特別会計繰出金 154,314,679 (167,670千円)	28 繰出金		127P —	平成30年度は、公共下水道区域拡大箇所の内、長坂地区の管渠整備工事を実施し、平成31年4月1日より供用開始した。 公共下水道区域の既供用開始区域内では、本管未整備箇所について、管渠整備の実施、不明水対策調査及び補修工事、マンホールポンプの更新等を実施した。 また、令和2年度からの法適化移行に伴い固定資産整備や例規整備等を実施した。	上下水道課 (下水道室)	自然 環境
			・公共下水道事業特別会計繰出金	154,314,679				
			○ 一般財源	154,314,679				

## (款) 8 土木費

## (項) 5 住宅費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 住宅対策費	継続	空家等対策事業 3,501,030 (8,516千円) 総合戦略	8 報償費		129P —	空家等対策の推進に関する特別措置法第6条第1項の規定による吉岡町空家等対策計画を策定し、空家対策を推進した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利
			・空家等対策協議会謝礼	46,260				
			11 需用費	9,570				
			・消耗品費					
			13 委託料					
			・空家等対策計画策定業務 (繰越明許)	3,445,200				
			○ 一般財源	3,501,030				

## (款) 9 消防費

## (項) 1 消防費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 非常勤 消防費	継続	消防団運営費 12,425,160 (13,269千円)	1 報酬 ・非常勤職員報酬 6,545,160 13 委託料 ・消防団各事業委託料 5,280,000 19 負担金、補助及び交付金 ・消防団運営補助金 600,000 ○ 一般財源 12,425,160	129P —	町民の生命、財産を守るために日々活動する消防団員に対し、報酬、各種出動委託料及び運営補助金を支払った。 ○消防団員総員：102名(平成30年4月1日現在) ○報酬(年額)：団長295,000円、副団長221,000円、分団長・ラッパ長147,000円、副分団長94,000円、部長82,000円、班長62,000円、機関員47,000円、団員39,000円、ラッパ手41,000円	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
	継続	消防団員 自動車運転免許 取得費補助金 91,584 (2,590千円)	19 負担金、補助及び交付金 ・消防団員自動車運転免許取得費 補助金 91,584 ○ 一般財源 91,584	129P —	所属している分団の消防自動車を運転できない団員を対象に、中型免許等の取得費を補助し、消防機能の充実を図った。 準中型免許：1名	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
3 水防費	新規	ハザードマップ 作成業務 1,792,800 (1,793千円)	13 委託料 ・ハザードマップ作成委託料 1,792,800 14 国庫支出金 ・社会資本整備総合交付金 (ハザードマップ作成業務) 896,000 ○ 一般財源 896,800	131P 25P —	防災体制の一層の強化を図るとともに、浸水想定区域や土砂災害危険区域等の周知を図ることで、町民一人一人の自らの避難体制の整備を促進するため、ハザードマップを作成した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
4 災害対策費	継続	自主防災組織 支援事業 68,000 (650千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・自主防災組織活動補助金 68,000 ○ 一般財源 68,000	131P —	総合戦略事業として、自主防災組織を支援することで地域防災力の向上を図り、地域と一体となったまちづくりを推進した。 ・自主防災組織の活動費及び資機材購入費の一部を助成した。(小倉、北下、大久保寺上、溝祭、漆原西、漆原東自治会)	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
5 無線放送 施設設置 事業費	新規	全国瞬時警報システム(J-ALERT) 新型受信機 設置事業 4,060,800 (4,320千円)	15 工事請負費 ・新型受信機設置工事 4,060,800 21 町債 ・緊急防災・減災事業債 (J-ALERT新型受信機設置事業) 4,000,000 ○ 一般財源 60,800	131P 47P —	現在のJ-ALERTは平成23年に整備されたが、受信機のソフトウェアのサポートが、一定の経過期間を経て終了することや、新型受信機への移行により、情報伝達に要する処理時間の大幅な短縮や、特別警報等の伝達情報の充実が可能となることから整備を行った。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	

## (款) 10教育費

## (項) 1 教育総務費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 事務局費	新規	スクールバス 購入事業 6,464,890 (7,713千円)	12 役務費 ・自賠責保険料(通学バス用) 46,110 18 備品購入費 ・スクールバス 6,337,080 27 公課費 ・自動車重量税(通学バス用) 81,700	135P	老朽化により修理費用が増えてきているだけでなく、代車等に対応しないと運行できないといった問題も起きているため、安全性を確保する面からも老朽化したスクールバスの更新を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
	新規	学校給食 食材費の助成 5,000,000 (5,000千円)	28 繰出金 ・学校給食事業特別会計繰出金 (食材費助成分) 5,000,000	135P				一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行い、給食食材費を助成することで、学校給食の充実を図った。
			○ 一般財源 6,464,890	—				
			○ 一般財源 5,000,000	—				

## (款) 10 教育費

## (項) 2 小学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
2 教育振興費	継続	学校給食費 保護者負担金 の補助 14,578,700 (14,976千円) 総合戦略	28 繰出金 ・駒小学校給食事業特別会計 繰出金(給食費補助分) 8,246,000 ・明小学校給食事業特別会計 繰出金(給食費補助分) 6,332,700	145P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行うことで、学校給食費の保護者負担金を児童1人当たり、10,450円(950円×11か月)補助した。 ・対前年度: +57千円(+0.4%)	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
			○ 一般財源 14,578,700	—				
3 学校建設費	継続	明治小学校 職員室改修事業 16,167,600 (16,330千円)	13 委託料 ・明小職員室改修工事監理業務 委託 1,674,000	145P	明治小学校の児童数増加に伴い教職員数も増加し、職員室の面積が不足していたことから、拡幅改修工事を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
			15 工事請負費 ・明小職員室改修工事 14,493,600					
			21 町債 ・学校教育施設等整備事業債 (明小職員室改修事業) 12,100,000	47P				
			○ 一般財源 4,067,600	—				

## (款) 10 教育費

## (項) 2 小学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
3 学校建設費	新規	駒寄小学校 体育館改築事業 82,151,926 (86,158千円)	13 委託料			145P	現在の体育館は、児童の増加により狭小化しており、全校集会や記念式典等に支障を来している。そのため、既存の体育館を解体し、現在の児童数に応じた、より大きな体育館を整備するもの。平成30年度は、用地買収及び改築・解体のための設計業務を行うとともに屋内体育施設の解体工事にも着手した。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			・駒小体育館新築工事設計業務委託	44,928,000					
			・駒寄児童屋体解体工事設計業務委託	2,451,600					
			・駒小体育館用地分筆登記業務委託	333,504					
			・駒小補償調査業務委託	1,641,600					
			15 工事請負費						
			・駒寄児童屋体解体工事	13,392,000					
			17 公有財産購入費						
			・駒小体育館用地買収費	7,756,696					
			22 補償、補填及び賠償金						
・駒小建物補償費	11,648,526								
18 繰入金			38P						
・教育文化振興基金繰入金	11,889,000								
21 町債			47P						
・学校教育施設等整備事業債 (駒小体育館用地取得事業)	19,200,000								
・学校教育施設等整備事業債 (駒小体育館改築事業)	45,500,000								
○ 一般財源	5,562,926		—						

## (款) 10教育費

## (項) 3 中学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
1 学校管理費	新規	部活動指導員 316,800 (1,200千円)	7 賃金			147P	部活動の技術指導や大会への引率等を行うことを職務とする「部活動指導員」を1名配置した。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			・部活動指導員	316,800					
			15 県支出金			33P			
			・部活動指導員配置促進事業 補助金	210,000					
			○ 一般財源	106,800		—			
2 教育振興費	継続	学校給食費 保護者負担金の補助 6,884,650 (7,086千円) 総合戦略	28 繰出金			151P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行うことで、学校給食費の保護者負担金を児童1人当たり、10,450円(950円×11か月)補助した。 ・対前年度: -268千円(-3.7%)	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			・学校給食事業特別会計繰出金 (給食費補助分)	6,884,650					
			○ 一般財源	6,884,650		—			

## (款) 10教育費

## (項) 3 中学校費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
3 学校建設費	新規	吉岡中学校 校舎増築事業 12,258,000 (13,760千円)	13 委託料		151P	生徒の増加等により、令和2年度以降に教室不足が見込まれているため、教室不足解消に向け、校舎の増築を行うもの。平成30年度は、設計業務を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			・校舎増築工事設計業務委託	12,258,000				
			21 町債		47P			
			○ 一般財源	3,258,000	—			
	新規	吉岡中学校 校舎増築関連 移設事業 35,964,000 (39,852千円)	15 工事請負費		151P	令和元年度に予定している吉岡中学校校舎増築工事を円滑に進めるため、建設予定地にある駐輪場・体育器具庫等の移設工事を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
			・校舎増築関連移設工事	35,964,000				
			21 町債		47P			
			○ 一般財源	8,964,000	—			
	新規	吉岡中学校 ブロック塀 改修工事 8,715,600 (9,818千円)	15 工事請負費		151P	大阪北部地震によるブロック塀倒壊事故を受け吉岡中学校のブロック塀を緊急点検したところ、ブロック塀に亀裂や穴が見られたほか、玉石積の上に設置してあるなどの問題が確認されたため、ブロック塀を撤去し軽量のフェンス等に置き換える改修工事を行った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化
・緊急対策工事			8,715,600					
14 国庫支出金				27P				
・ブロック塀・冷房設備対応 臨時特例交付金			2,934,000					
21 町債				47P				
		・学校教育施設等整備事業債 (吉中ブロック塀改修事業)	5,700,000					
		○ 一般財源	81,600	—				



## (款) 10 教育費

## (項) 4 社会教育費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳					
1 社会教育 総務費	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,444,876 (3,450千円) 総合戦略	8 報償費 ・体験発表等記念品(吉岡町・ 大樹町子ども交流事業)	2,000	151P	友好都市である北海道大樹町において自然体 験・社会体験・宿泊体験を行うことにより、大樹 町の子どもたちとの交流のほか、地域社会でリー ダーシップを発揮できる青少年を育成することが できた。 参加者30名。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育文化
			9 旅費 ・普通旅費(吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	641,400				
			11 需用費 ・消耗品費(吉岡町・大樹町 子ども交流事業) ・食糧費(吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	44,983				
			・印刷製本費(吉岡町・大樹 町子ども交流事業)	127,600				
			12 役務費 ・保険料(吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	28,800	153P			
			13 委託料 ・業務委託料(吉岡町・大樹 町子ども交流事業)	2,531,120				
			14 使用料及び賃借料 ・携帯電話使用料(吉岡町・ 大樹町子ども交流事業)	7,237				
			20 諸収入 ・吉岡町・大樹町子ども交流 事業負担金	900,000	43P			
○ 一般財源	2,544,876	—						

## (款) 10 教育費

## (項) 4 社会教育費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
5 文化財保 護・調査費	拡 充	文化財を資源 とした交流エリア形 成プロジェクト 6,620,176 (8,664千円) 総合戦略	7 賃金			159P	平成30年度に文化財センターをオープンし、本 町の特色である古墳や養蚕などの歴史文化に関す る情報発信や交流事業を実施し、地域資源として の文化財を活用した町の魅力度向上に貢献した。 (主な事業) ・小学生を対象とした勾玉づくり教室を開催。 ・全国でも珍しい正八角形墳である三津屋古墳に ついての講演会を開催。 ・縁結び、子育て、五穀豊穰などの神として人々 に親しまれてきた、町内の58体の道祖神を写真パ ネルなどで紹介。 ・町内の発掘調査で出土した土器などの遺物や養 蚕用の民具を常設展示。 ・県、町指定文化財、ぐんま絹遺産などを写真パ ネルなどで紹介。 ・町内の文化財に関するパンフレットを印刷。3 種類 1,200部作成。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育 文化
			・町内確認調査等賃金	3,509,425					
			8 報償費						
			・講師謝礼	15,000					
			・文化財等管理・整備謝礼	528,500					
			11 需用費						
			・消耗品費	78,410					
			・文化財標柱	76,360					
			・印刷製本費	214,056					
			・修繕料	54,275					
			13 委託料						
・南下古墳群・三津屋古墳除草 業務委託料	382,979								
16 原材料費									
・文化財維持管理用原材料	23,328								
18 備品購入費									
・施設備品	1,597,843								
19 負担金、補助及び交付金									
・郷土伝承芸能団体補助金	140,000								
○ 一般財源	6,620,176								

## (款) 10 教育費

## (項) 5 保健体育費

(単位:円)

目	区分	事業名 決算額 (予算額)	決算額内訳		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳						
1 保健体育 総務費	新 規	八幡山グラウンド仮 設広場整備工事 10,713,600 (12,000千円)	15 工事請負費□			163P	八幡山グラウンドの南側に仮設広場を整備。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育 文化
			・八幡山グラウンド仮設広場 整備工事	10,713,600					
			18 繰入金□□						
・教育文化振興基金繰入金	3,713,000								
○ 一般財源	7,000,600								

6. 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 平成30年度主要事業一覧表（再掲）

基本目標1：「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

(1) 豊かな住環境の整備と安全・便利なまちづくり

②公共交通・道路網の充実

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳（節の区分ごと）		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳（款の区分ごと）					
公共交通 利便性 向上事業	新規	公共交通 オープンデータ化 事業 7,000 (7千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・公共交通オープンデータ化 負担金 7,000	65P	公共交通の利用促進に向けた取組みとして、バス停の座標やバスの時刻表のデータをオープンデータ化し、インターネットで乗換検索を可能にするもので、データは県ホームページにて公開のほか、スマートフォン用アプリも公開された。	総務政策課 (政策室)	安全 便利	
			○ 一般財源 7,000	—				
公共交通 利便性 向上事業	継続	相乗り推奨 タクシー運賃等 助成事業 255,160 (400千円) 総合戦略	11 需用費 ・印刷製本費（交通対策事業用） 83,160	63P	交通不便地区・空白地区の解消に向けた取組みとして、交通弱者がタクシーを利用した際に支払う運賃等の一部を助成することにより、タクシーを活用した外出機会の創出を図り、もって日常生活の利便性の向上に資することを目的として、実証実験を行っていたが、当該事業が本地域の移動手段に適した公共交通システムと位置づけ、平成30年度から本格実施した。	総務政策課 (政策室)	安全 便利	
			13 委託料 ・相乗り推奨タクシー運賃等助成 事業委託 172,000	65P				
			○ 一般財源 255,160	—				

③安心・安全なまちづくり

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
地域自主防災組織 の充実	継続	自主防災組織 支援事業 68,000 (650千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金 ・ 自主防災組織活動補助金 68,000 ○ 一般財源 68,000	131P —	総合戦略事業として、自主防災組織を支援すること で地域防災力の向上を図り、地域と一体とな ったまちづくりを推進した。  ・ 自主防災組織の活動費及び資機材購入費の一部 を助成した。(小倉、北下、大久保寺上、溝祭、 漆原西、漆原東自治会)	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
空き家 対策事業	継続	空き家等対策事業 3,501,030 (8,516千円) 総合戦略	8 報償費 ・ 空家等対策協議会謝礼 46,260 11 需用費 ・ 消耗品費 9,570 13 委託料 ・ 空家等対策計画策定業務 (繰越明許) 3,445,200 ○ 一般財源 3,501,030	129P —	空家等対策の推進に関する特別措置法第6条第1 項の規定による吉岡町空家等対策計画を策定し、 空家対策を推進した。	産業建設課 (都市建設室)	安全 便利	
放課後児童 安全対策事業 (見守り パトロール)	継続	放課後児童見守り パトロール事業 2,250,270 (2,309千円) 総合戦略	13 委託料 ・ 放課後児童見守りパトロール 委託料 2,250,270 ○ 一般財源 2,250,270	67P —	子育て世代の女性が安心して育児に取り組める 環境の整備を目的として、放課後児童見守りパト ロールを実施した。見守りパトロールの内容は、 公益社団法人吉岡町シルバー人材センターに委託 し、町の青色回転灯装備車両を使用し、児童の下 校時間に合わせて午後2時30分から午後7時30分 のパトロールを239日実施した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	
放課後児童 安全対策事業 (防犯カメラ)	継続	防犯カメラ 設置事業 2,302,584 (2,477千円) 総合戦略	11 需用費 ・ 防犯カメラ電気料 85,344 ・ 防犯カメラ修繕料 25,920 15 工事請負費 ・ 防犯カメラ設置工事 2,191,320 ○ 一般財源 2,302,584	67P —	住民の安心・安全、児童・生徒の通学路の安全 確保、町有施設の安全管理を目的として、防犯カ メラを6台設置した。	町民生活課 (生活環境室)	安全 便利	

基本目標2：一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

(1) 子育て世帯への支援の充実

①子育てに関する不安や悩みの軽減

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
産前・産後 サポート事業	継続	産前・産後 サポート事業 51,918 (64千円) 総合戦略	13 委託料 ・産前・産後サポート事業 広域実施委託料	51,918	91P	育児・家事等の支援を必要とする、産前・産後期の母親の精神的・肉体的負担を軽減し、安心して育児や日常生活が営めるよう支援する。 1回につき1,700円(2時間)で、3回までを町が負担し、4回目以降は自己負担となる。ただし、多胎妊娠の場合は6回までを町が負担する。 渋川広域圏で共同実施しており、吉岡町住民の利用分について、渋川市に委託料を支出した。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			○ 一般財源	51,918	—			
発達障害の 早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	こどものこころの 発達健診 220,000 (240千円) 総合戦略	8 報償費 ・こどものこころの発達健診謝礼	220,000	99P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 1歳6カ月児健診で発達の遅れが疑われる児童に対し、心理士の詳しい検査・保護者へのアドバイスを行う。 ・こころの発達健診 対象者15人、来所者11人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			○ 一般財源	220,000	—			
発達障害の 早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	年中児こころの 成長アンケート 267,030 (455千円) 総合戦略	8 報償費 ・年中児こころの成長アンケート謝礼	102,000	99P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 5歳に達する児童の保護者にアンケートを行うことでハイリスク児を把握し、発達支援教室や相談会でフォローしていくとともに、二次障害(不登校・ひきこもり・精神疾患)の予防につなげていく。 ・アンケート送付者226人、回答163人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			11 需用費 ・印刷製本費 (年中児こころの成長アンケート)	71,064				
			12 役務費 ・郵便料 (年中児こころの成長アンケート)	93,966				
			○ 一般財源	267,030	—			

①子育てに関する不安や悩みの軽減

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
発達障害の 早期発見 のための 各種健診 の充実	継続	発達支援教室 968,230 (1,139千円) 総合戦略	8 報償費		99P	自閉症やADHD・ASD等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図る総合戦略事業の一環として行うもの。 年中児こころの成長アンケートで発達障害の疑いがあり、発達支援教室への参加が必要となった児童及びその保護者に対し、医師・保育士・作業療法士・心理士・保健師がアドバイスを行う。 ・教室該当者36人、参加者16人	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・発達支援教室謝礼	762,300				
			11 需用費					
			・消耗品費 (発達支援教室)	61,930				
			13 委託料					
			・発達支援教室委託料	144,000				
			○ 一般財源	968,230	—			
育児相談の 充実事業	継続	子育て相談 支援事業 618,000 (672千円) 総合戦略	8 報償費		99P	子育て世代が安心して子どもを生み育てるための支援策として、乳幼児健診の事後相談を充実するとともに、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実(栄養士・言語聴覚士・作業療法士を追加)により、育児不安の解消、育児ストレスの軽減を図る。 また、第二子への保健師による訪問・電話相談を実施し、早期の支援を行う。 ・運動発達の相談 来所者35人 ・ことばの相談 来所者18人 ・母乳相談に栄養士を追加で配置 ・保健師の第二子訪問77件、電話相談20件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉
			・健康相談謝礼	618,000				
			○ 一般財源	618,000				
赤ちゃんの駅 (情報マップ)の活用支援	継続	赤ちゃんの駅 (情報マップ) 0 (0千円) 総合戦略	11 需用費		91P	渋川広域圏で実施する地方創生事業であり、外出中におむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定する。 平成30年度は、新たに指定された施設はなく、増刷についても在庫に余裕があるため実施なしとなった。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・印刷製本費	0				
			○ 一般財源	0				

②子育ての経済的負担の軽減

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
不妊・不育 対策事業	継続	不妊・不育対策 支援事業 4,002,000 (5,680千円) 総合戦略	20 扶助費		99P	総合戦略事業として、また、一億総活躍政策が掲げる「希望出生率1.8」の実現に向けた取組みとして、不妊・不育に悩む夫婦の支援を行うもの。平成28年度からは、従来の特定不妊治療に加え、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症治療についても助成を行った。 ・特定不妊治療…体外受精及び顕微授精 ・一般不妊治療…排卵誘発法、人工授精など ・男性不妊治療…特定不妊治療のうち、精子を精巣又は精巣上体から採取するための手術 ・不育症…反復して妊娠はするが、流産や早産、死産などで健康な生児に恵まれない状態  ・特定不妊治療助成件数(延件数)37件 ・一般不妊治療助成件数(延件数)31件 ・男性不妊治療助成件数(延件数)1件 ・不育症治療費助成件数(延件数)0件	健康福祉課 (健康づくり室)	健康福祉	
			・特定不妊治療費	2,862,000					
			・一般不妊治療費	1,110,000					
			・男性不妊治療費	30,000					
			○ 一般財源	4,002,000	—				
学校給食費の 保護者負担額の 軽減事業	継続	学校給食費 保護者負担金 の補助 26,463,350 (27,062千円) 総合戦略	28 繰出金		145P	一般会計から学校給食事業特別会計への繰出しを行うことで、学校給食費の保護者負担金を児童生徒1人当たり、10,450円(950円×11か月)補助した。対前年度：△211千円(-1.0%) また、給食食材費を助成することで、学校給食の充実を図った。	教育委員会 事務局 (学校教育室)	教育文化	
			・駒小学校給食事業特別会計 繰出金(給食費補助分)	8,246,000					
			・明小学校給食事業特別会計 繰出金(給食費補助分)	6,332,700					
			・学校給食事業特別会計繰出金 (給食費補助分)	6,884,650					151P
・学校給食事業特別会計繰出金 (食材費助成分)	5,000,000	135P							
			○ 一般財源	26,463,350	—				
高校生の 通学支援	拡充	高校生等 通学支援事業 942,000 (1,200千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金		65P	公共交通の利用促進と高校生等を持つ世帯の経済的負担を軽減するために、通学定期に対する補助事業を実施した。平成30年度は要綱を見直し、5,000円/月以上で1,000円、10,000円/月以上で2,000円の補助を行い、多くの利用をいただいた。	総務政策課 (政策室)	安全 便利	
			・高校生等通学支援事業補助金	942,000					
			○ 一般財源	942,000	—				

(2) 「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

①就学前の児童と保護者の交流・成長支援

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
保育士 確保事業	継続	保育士等確保事業 2,350,000 (4,500千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金		93P	吉岡町では、人口増に伴う年度途中の低年齢児の入所により、保育士等の増員が必要となる場合が多いが、途中入所に対応した保育士等の確保が困難な状況にある。 保育所等では、年度途中の園児数の増加を見込み、年度当初の在園児数に対する保育士等数の配置基準以上に余剰配置することで、途中入所の増加に対応すべく体制を整えているが、当該基準を超えた保育士等に係る経費は、公費負担の算定とならない。 そのため、当該経費の一部を補助することにより、年度途中の園児の受入態勢の充実を図る。 町内6保育所等の事業実施に対して支払いを行った。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・保育士等確保事業補助金	2,350,000	—			
			○ 一般財源	2,350,000				
認定こども園の 設置支援	新規	私立保育所等 施設整備助成事業 0 (222,708千円) 総合戦略	19 負担金、補助金及び交付金			増加している低年齢児の保育ニーズに対応するほか、児童の保育環境等の改善を図るため、町内の保育所等の施設整備にかかる費用の一部を助成するもの。 平成30年度は、第三保育園の園舎新築を助成予定であったが、平成31年度に繰り越しとなったため予算の執行なし。	健康福祉課 (こども福祉室)	健康福祉
			・私立保育所等施設整備補助金	0				
			14 国庫支出金					
			・保育所等整備交付金 (私立 保育所等施設整備助成事業)	0				
			○ 一般財源	0	—			



③子どもの可能性を広げるための学習支援

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野	
			財源内訳 (款の区分ごと)						
吉岡町 大樹町 子ども 交流事業	継続	吉岡町・大樹町 子ども交流事業 3,444,876 (3,450千円) 総合戦略	8 報償費			友好都市である北海道大樹町において自然体 験・社会体験・宿泊体験を行うことにより、大樹 町の子もたちとの交流のほか、地域社会でリー ダーシップを発揮できる青少年を育成することが できた。 参加者30名。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育 文化	
			・体験発表等記念品 (吉岡町・ 大樹町子ども交流事業)	2,000					
			9 旅費						151P
			・普通旅費 (吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	641,400					
			11 需用費						153P
			・消耗品費 (吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	44,983					
			・食糧費 (吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	61,736					
			・印刷製本費 (吉岡町・大樹 町子ども交流事業)	127,600					
			12 役務費						153P
			・保険料 (吉岡町・大樹町 子ども交流事業)	28,800					
13 委託料			153P						
・業務委託料 (吉岡町・大樹 町子ども交流事業)	2,531,120								
14 使用料及び賃借料			153P						
・携帯電話使用料 (吉岡町・ 大樹町子ども交流事業)	7,237								
20 諸収入				43P					
・吉岡町・大樹町子ども交流 事業負担金	900,000								
○ 一般財源		2,544,876		—					

基本目標3：地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

(1) 地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

① 地域資源の発掘・活用

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野		
			財源内訳 (款の区分ごと)							
まちの 歴史資源の 発掘・活用	拡充	文化財を資源 とした交流エリア 形成プロジェクト 6,620,176 (8,664千円) 総合戦略	7 賃金			159P	平成30年度に文化財センターをオープンし、本町の特色である古墳や養蚕などの歴史文化に関する情報発信や交流事業を実施し、地域資源としての文化財を活用した町の魅力向上に貢献した。 (主な事業) ・小学生を対象とした勾玉づくり教室を開催。 ・全国でも珍しい正八角形墳である三津屋古墳についての講演会を開催。 ・縁結び、子育て、五穀豊穡などの神として人々に親しまれてきた、町内の58体の道祖神を写真パネルなどで紹介。 ・町内の発掘調査で出土した土器などの遺物や養蚕用の民具を常設展示。 ・県、町指定文化財、ぐんま絹遺産などを写真パネルなどで紹介。 ・町内の文化財に関するパンフレットを印刷。3種類 1,200部作成。	教育委員会 事務局 (生涯学習室)	教育文化	
				・町内確認調査等賃金	3,509,425					
			8 報償費							
				・講師謝礼	15,000					
				・文化財等管理・整備謝礼	528,500					
			11 需用費							
				・消耗品費	78,410					
				・文化財標柱	76,360					
				・印刷製本費	214,056					
				・修繕料	54,275					
			13 委託料							
				・南下古墳群・三津屋古墳除草 業務委託料	382,979					
			16 原材料費							
	・文化財維持管理用原材料	23,328								
18 備品購入費										
	・施設備品	1,597,843								
19 負担金、補助及び交付金										
	・郷土伝承芸能団体補助金	140,000								
○ 一般財源		6,620,176		—						

② 「吉岡の魅力」の情報発信

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野		
			財源内訳 (款の区分ごと)							
道の駅 「よしおか温泉」 情報発信 強化事業	継続	道の駅 「よしおか温泉」 情報発信機能 強化事業 250,000 (900千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金			109P	町の東の玄関口として位置付けられている道の駅「よしおか温泉」を、広域観光案内及び地域情報の提供施設として更なる整備を推進するとともに、各種イベントを通して地域交流及び地域特産品のPR強化を図る事業。今年度は、道の駅で行われた「ほたる祭り」のイベントに対し助成を行い、各種団体による自主的・自立的な交流及び地域PR活動が行われた。	産業建設課 (産業振興室)	産業雇用	
				・道の駅まつり交付金	250,000					
			○ 一般財源	250,000						—

②「吉岡の魅力」の情報発信

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
まちの イメージアップと 観光・行政 情報発信の 充実強化	継続	イメージアップ 事業 63,831 (156千円) 総合戦略	8 報償費		63P	総合戦略事業及び第5次総合計画のよしおか再 発見プロジェクトの一環として行うもの。 3回目となるフォトコンテストを開催し、町の 魅力を再発見するとともに、町の魅力を広く内外 に発信した。	総務政策課 (政策室)	町民 行政
			・謝礼 (企画費)	17,600				
			・イメージアップ事業記念品 (企画費)	43,088				
			11 需用費					
			・消耗品費 (企画費)	2,643				
			・食糧費 (企画費)	500				
			○ 一般財源	63,831	—			

(4) 町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

①町の魅力や企業の価値を高める活動に対する支援

施策事業	区分	細事業名 決算額 (予算額)	歳出内訳 (節の区分ごと)		決算書 掲載頁	事業内容及び実績	課名 (室名)	分野
			財源内訳 (款の区分ごと)					
6次産業化に 対する支援	継続	地域特産品 生産体制構築事業 9,763,200 (11,000千円) 総合戦略	13 委託料		107P	小倉乾燥芋の生産体制構築のため、県指導セン ターの協力を得て有志の生産者を中心に、原料い もの収量や生産量の拡大に向けた調査及び検証を 行った。栽培面では、ウイルスフリーや追肥と いった栽培方法の工夫により、当初の想定より、 はるかに多く収量を得られることがわかったほ か、貯蔵庫を導入し安定的な温度管理を行うこと で原料いもの腐敗率を格段に下げられることが確 認できた。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・地域特産品生産体制構築事業 委託料	9,763,200				
			14 国庫支出金		25P			
			・地方創生推進交付金	4,881,600				
			○ 一般財源	4,881,600	—			
ぐんま新技術新製 品開発推進事業	継続	ぐんま新技術・ 新製品開発推進 事業 316,000 (400千円) 総合戦略	19 負担金、補助及び交付金		115P	町内の中小企業者の開発意欲を助長し、その競 争力強化と発展を図ることを目的とし、町内に事 業所をもつ中小企業者が行う新製品・新商品の開 発に係る研究開発費の一部を、県と町が連携して 助成。	産業建設課 (産業振興室)	産業 雇用
			・ぐんま新技術・新製品開発推進 補助金	316,000				
			○ 一般財源	316,000	—			